



令和 8 年度職員意識調査の回答結果

【会計年度任用職員】

ASAHIKAWA CITY



職員意識調査の概要

ASAHIKAWA CITY

職員意識調査の概要



職員意識調査の実施概要

目的	職員の業務や職場環境等に関する意識の傾向を把握するため
調査実施期間	2026年6月1日～2026年6月30日
調査対象	会計年度任用職員（週20時間以上勤務する職員1,600人）
回答方法	LGWAN又はインターネット回線を利用したLoGoフォーム
回答者数	会計年度任用職員 797人（前回調査：678人）
回答率	49.8%（前回調査：39.8%）

（前回調査は2024年実施）



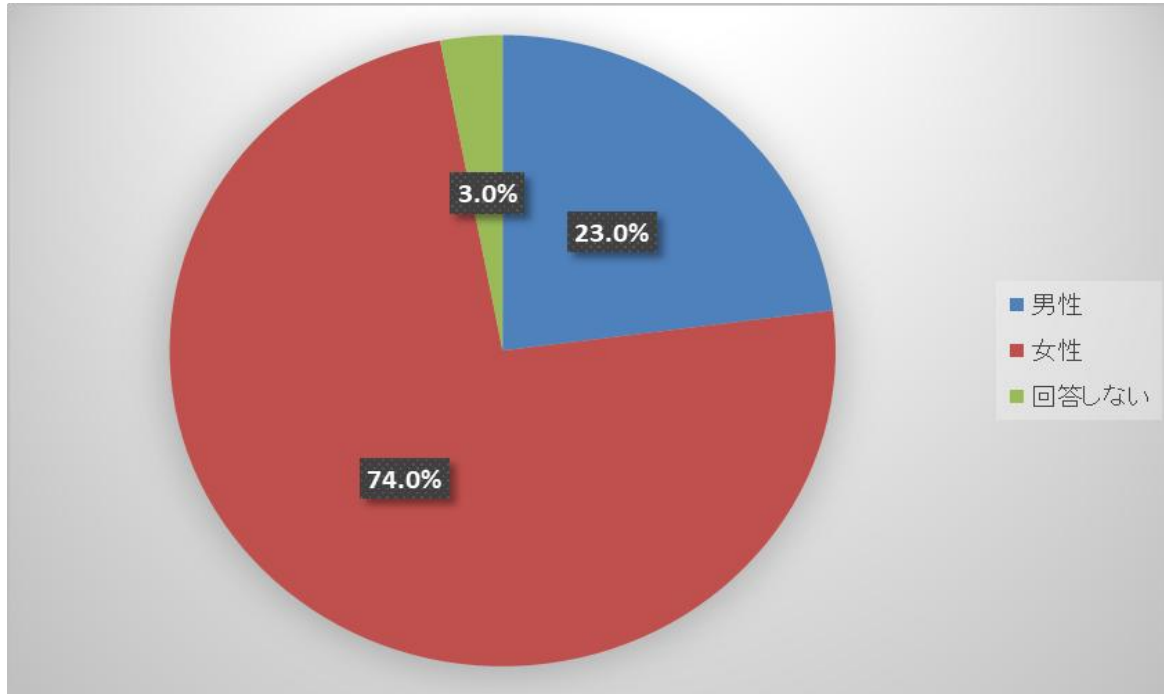
i 基本的事項【單純集計】

ASAHIKAWA CITY

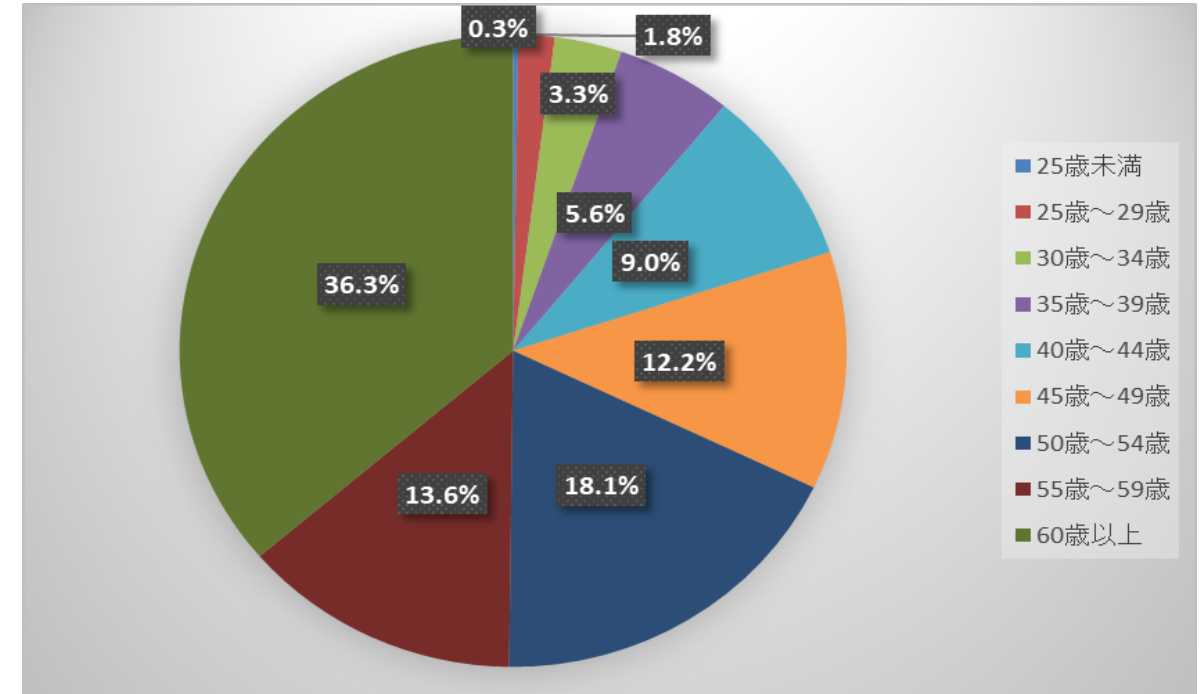
基本的事項(1)



Q1 性別



Q2 満年齢（令和8年4月1日現在）

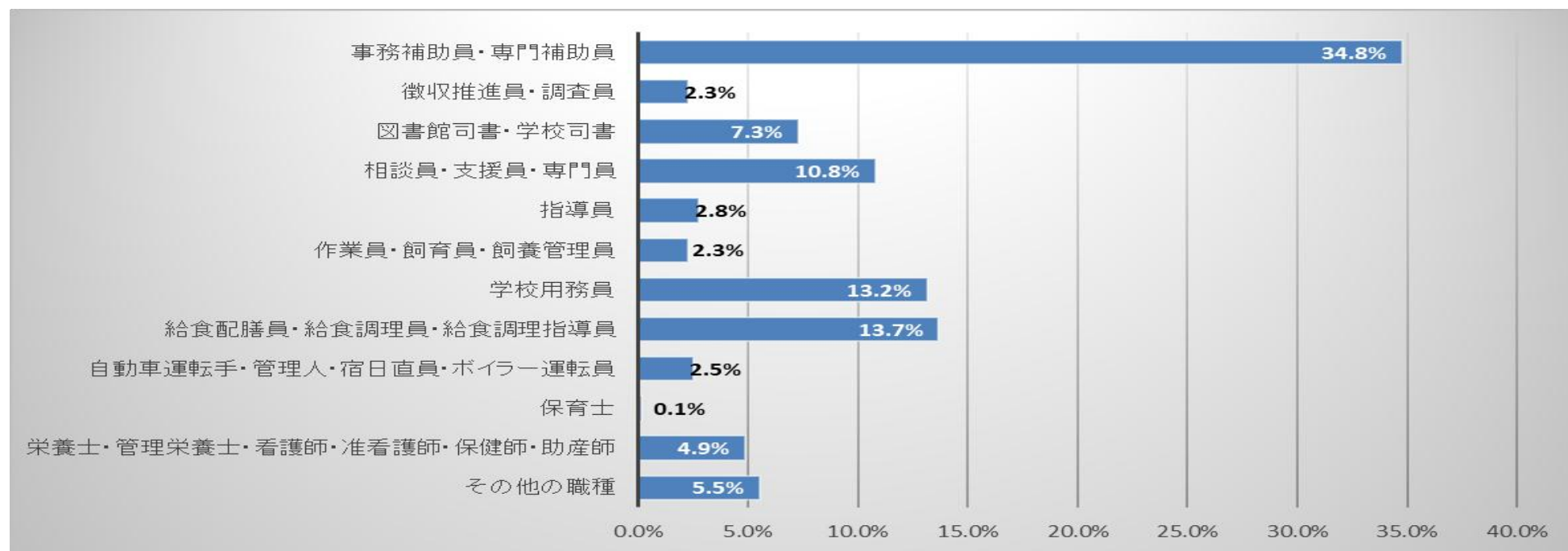


- ・性別は、男性が23.0%、女性が74.0%、回答しないが3.0%となっている。
- ・年齢は、60代以上が36.3%と最も大きな割合となり、次に50～54歳、55～59歳の順となっており、40歳以上が全体の89.2%を占めている。

基本的事項(2)



Q3 職種

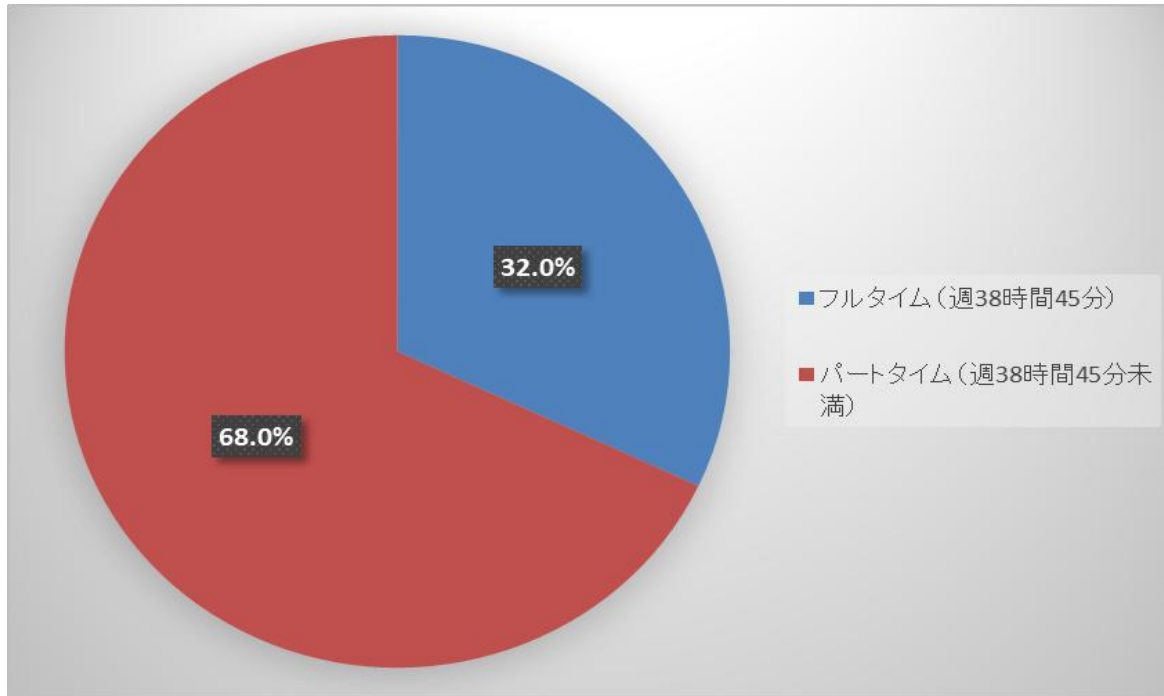


- ・職種は、事務補助員・専門補助員が34.8%と最も大きな割合となり、次に給食配膳員・給食調理員・給食調理指導員が13.7%、学校用務員が13.2%の順となっている。

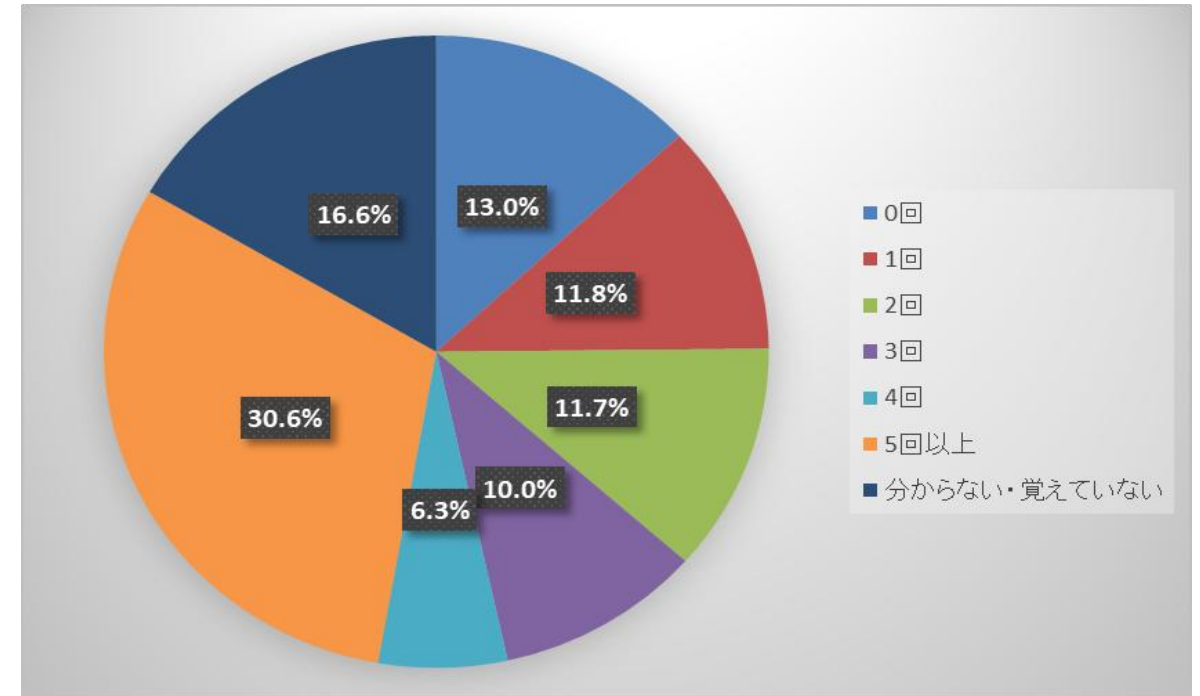
基本的事項(3)



Q4 勤務形態



Q5 “同じ職種”の会計年度任用職員としての再度の任用となった回数

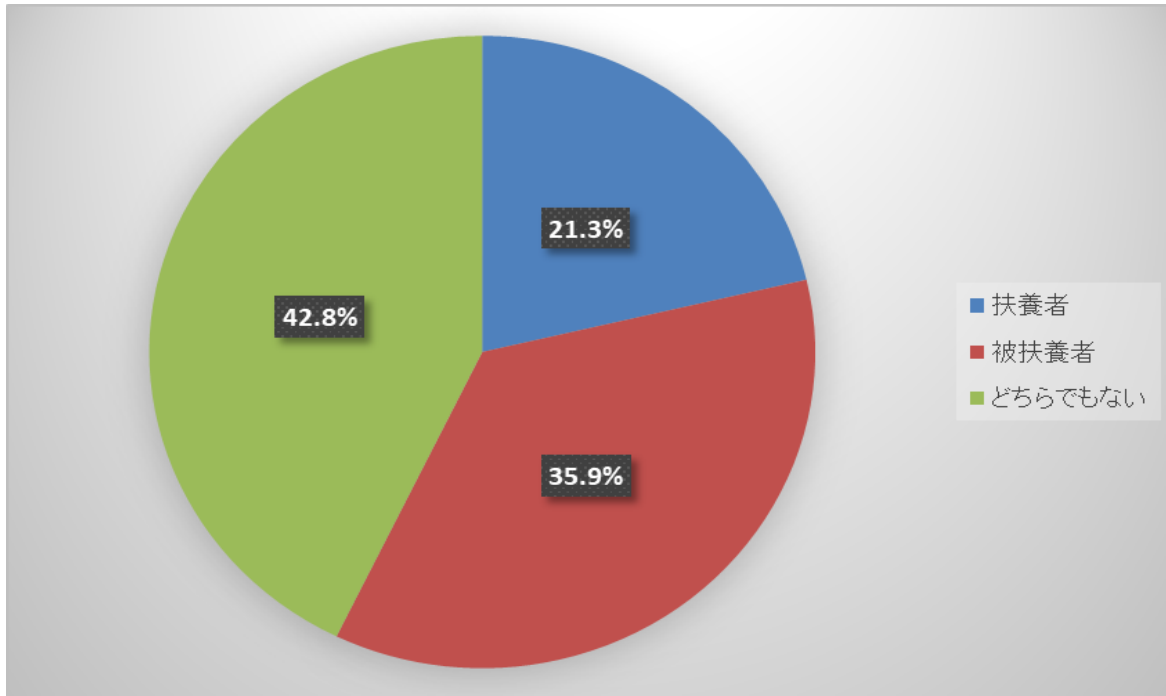


- ・勤務形態は、週38時間45分勤務のフルタイムが32.0%、週38時間45分未満の勤務のパートタイムが68.0%となっている。
- ・同じ職種で再度の任用となった回数は、5回以上が30.6%と最も高く、次に分からない・覚えていないが16.6%、0回が13.0%の順となっている。

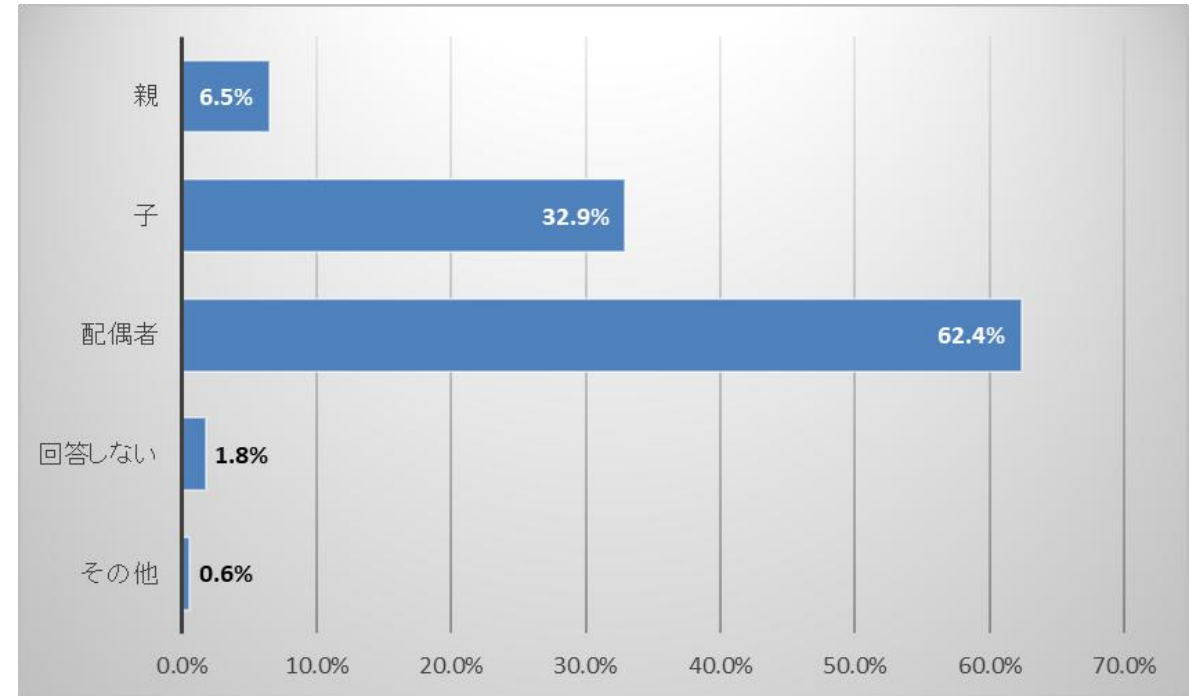
基本的事項(4)



Q6 あなたは扶養者ですか、それとも被扶養者ですか。



Q7 どなたを扶養していますか。
(「回答しない」以外は複数回答可)



- ・ 扶養の状況は、扶養者が21.3%、被扶養者が35.9%、どちらでもないが42.8%となっている。
- ・ 扶養している者のうち、配偶者が62.4%と最も高く、次に子が32.9%、親が6.5%の順となっている。



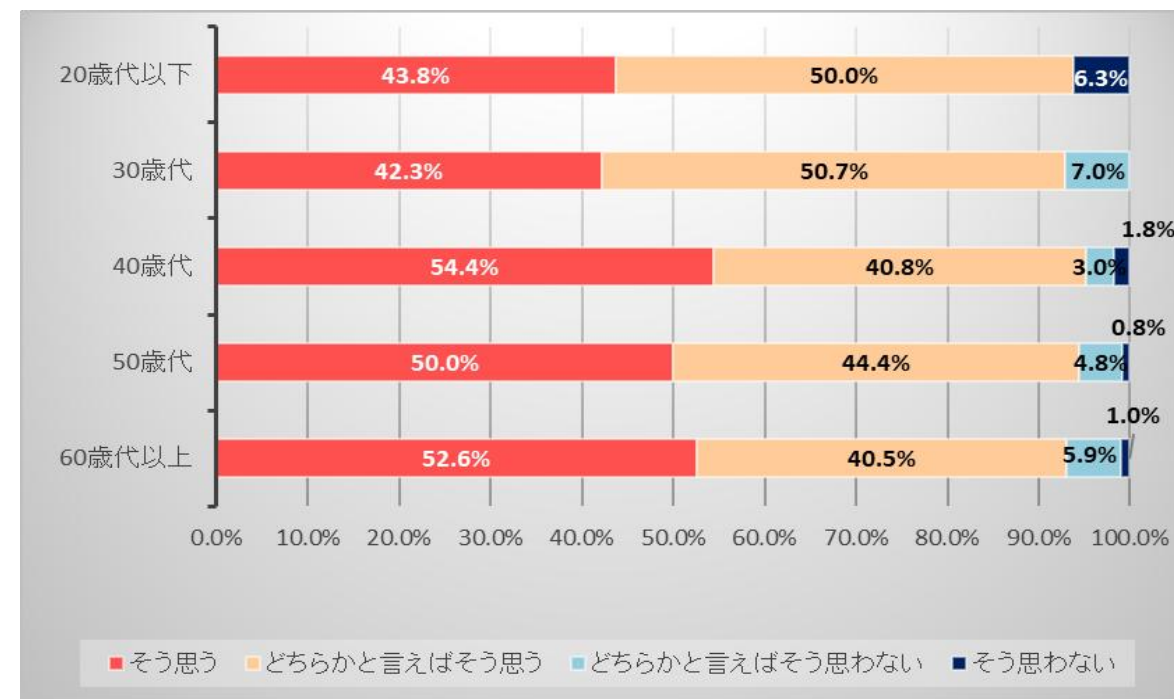
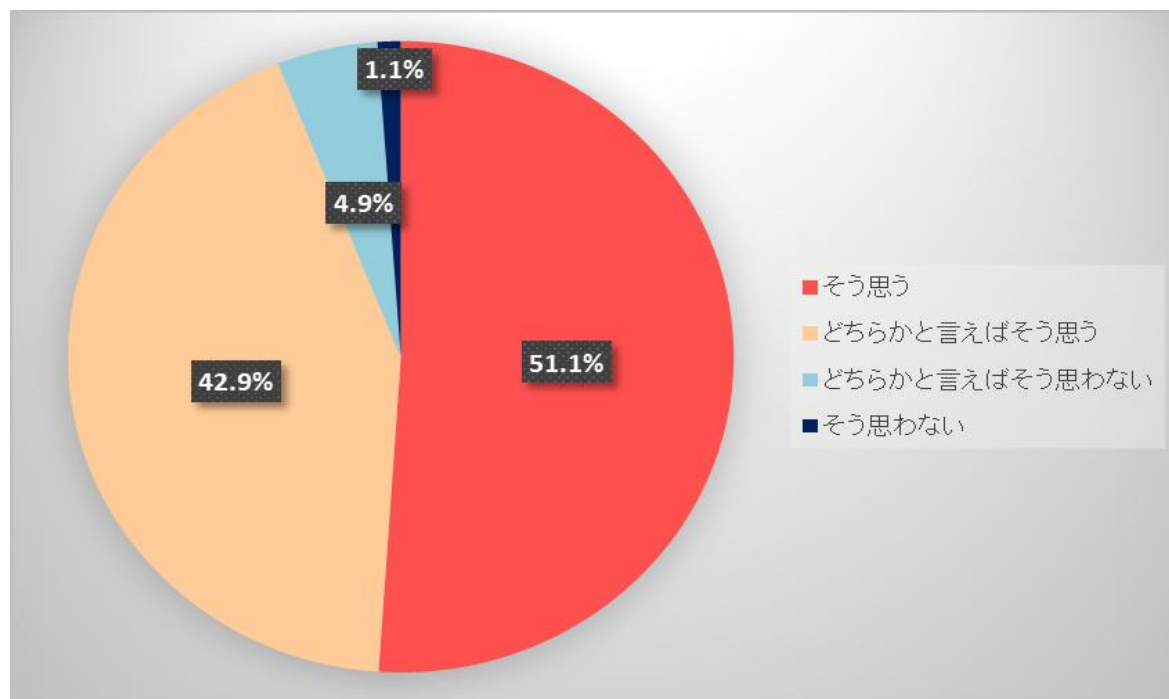
ii 仕事について【単純集計・クロス集計】

ASAHIKAWA CITY

仕事について(1)



Q8 現在の業務にやりがいを感じている。

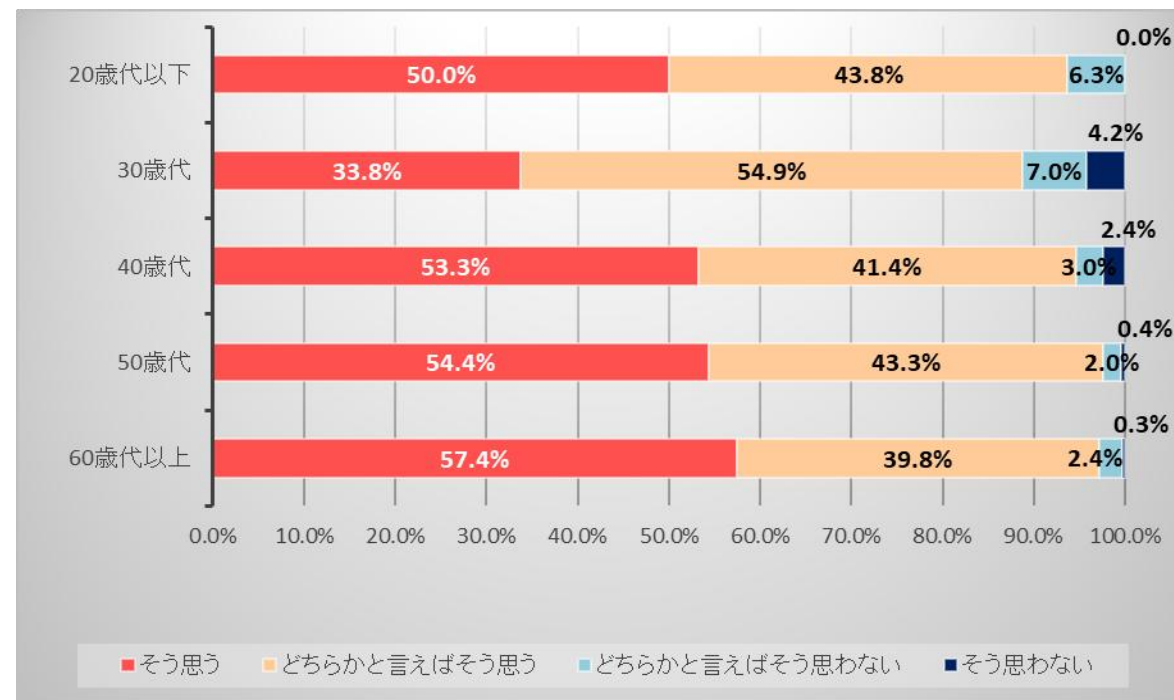
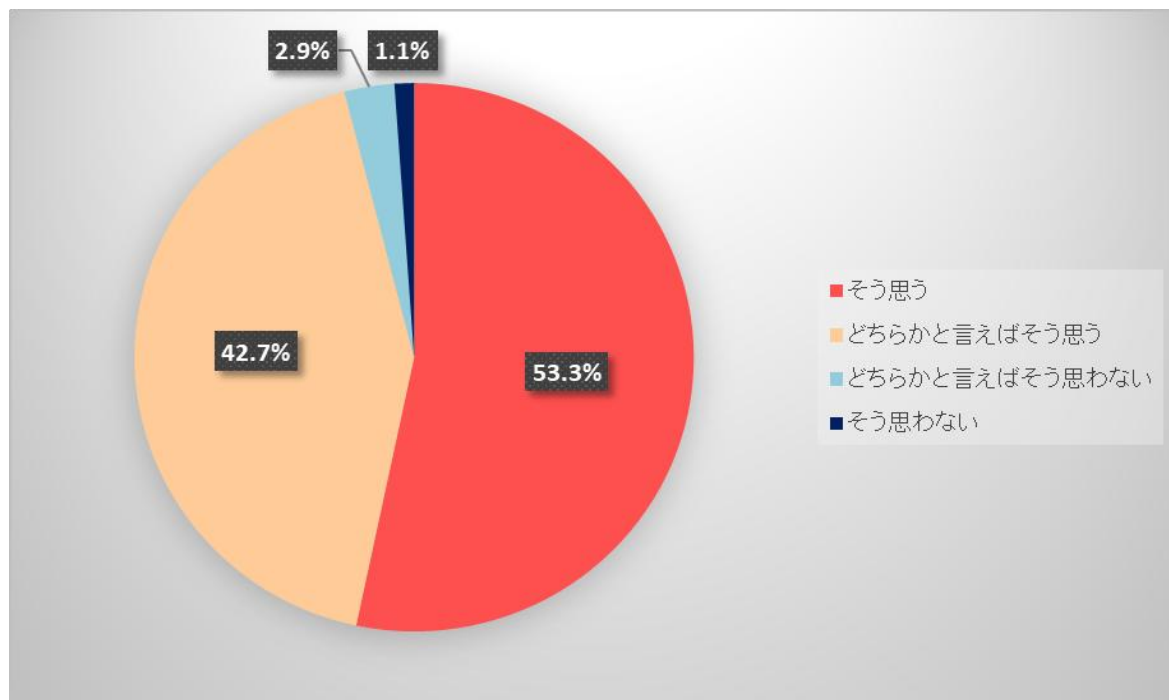


- ・そう思うが51.1%、どちらかと言えばそう思うが42.9%となり、全体の94.0%が相対的に現在の業務にやりがいを感じていると回答している。
- ・年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、40代が95.2%と最も高く、全ての年代で90%を上回っている。

仕事について(2)



Q9 旭川市の職員として誇りや使命感を持って仕事に取り組んでいる。

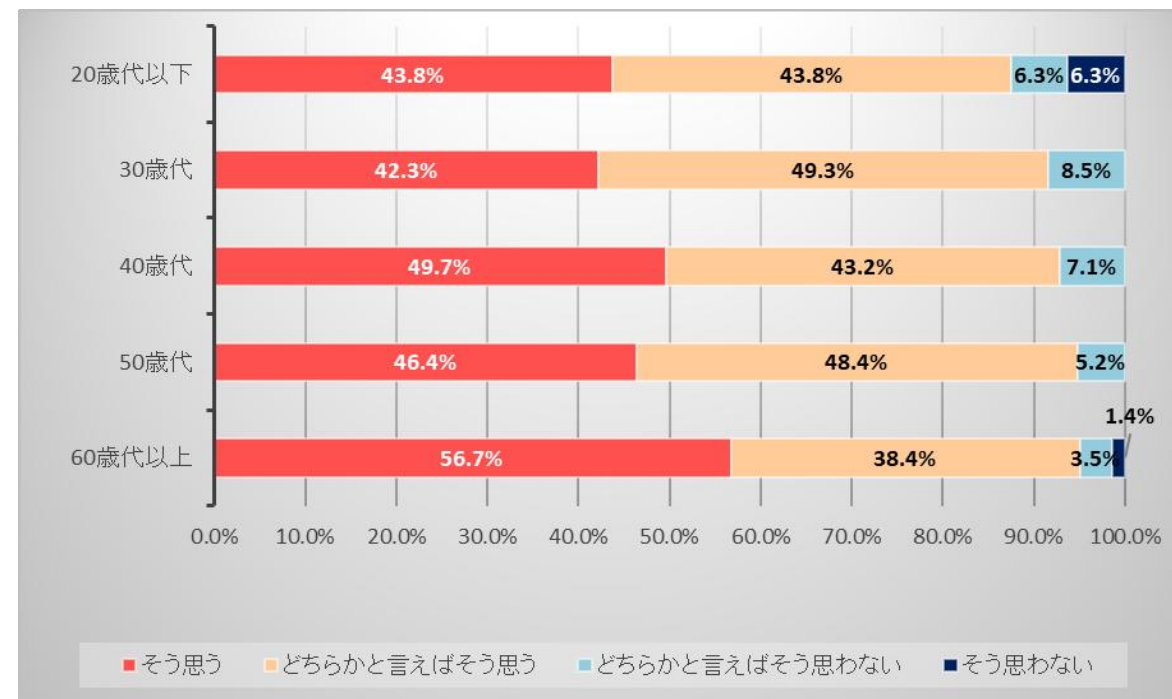
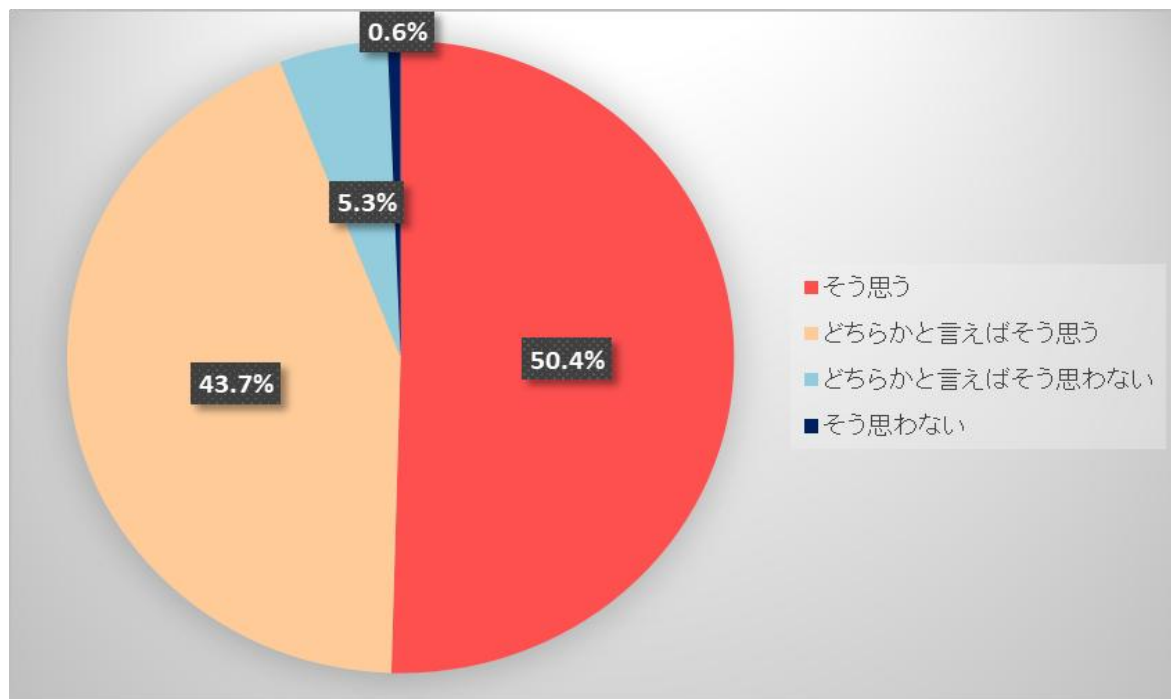


- ・そう思うが53.3%、どちらかと言えばそう思うが42.7%となり、全体の96.0%が相対的に旭川市の職員として誇りや使命感を持って仕事に取り組んでいると回答している。
- ・年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、50代が97.7%と最も高く、30代を除く全ての年代で90%を上回っている。

仕事について(3)



Q10 現在の業務は自分に向いている。



- ・ そう思うが50.4%、どちらかと言えばそう思うが43.7%となり、全体の94.1%が相対的に現在の業務は自分に向いていると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が95.1%と最も高く、20代以下を除く全ての年代で90%を上回っている。



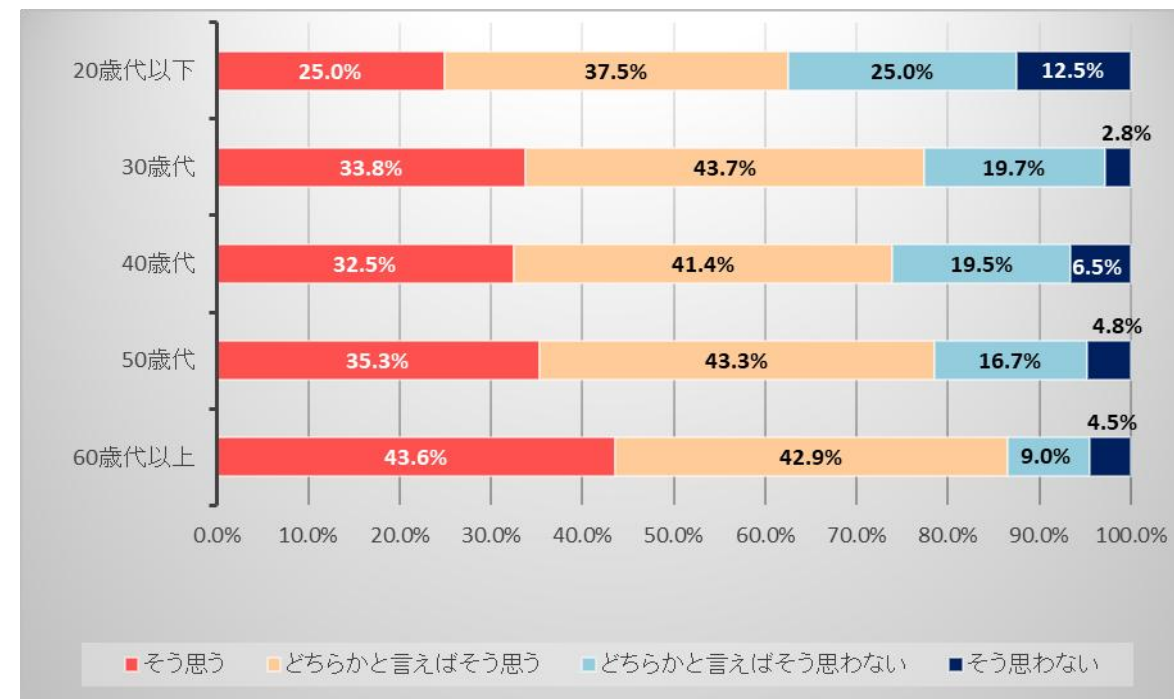
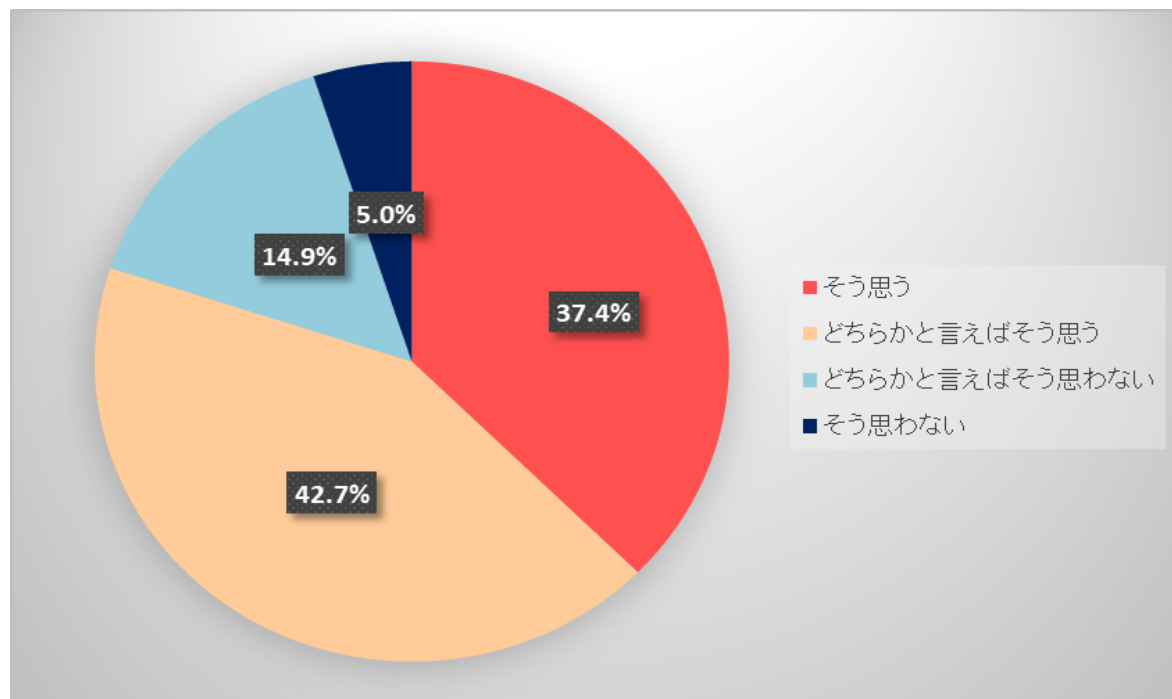
iii 給与制度等について【単純集計・クロス集計】

ASAHIKAWA CITY

給与制度等について(1)



Q11 業務内容や責任に見合った給与を受けている。

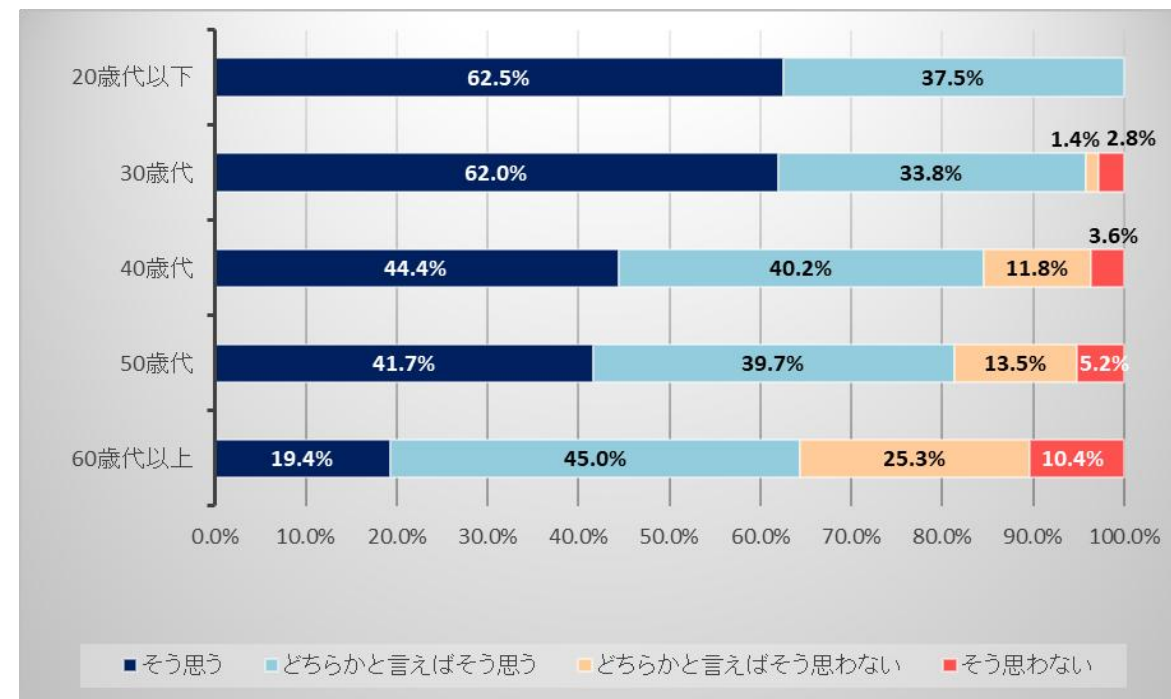
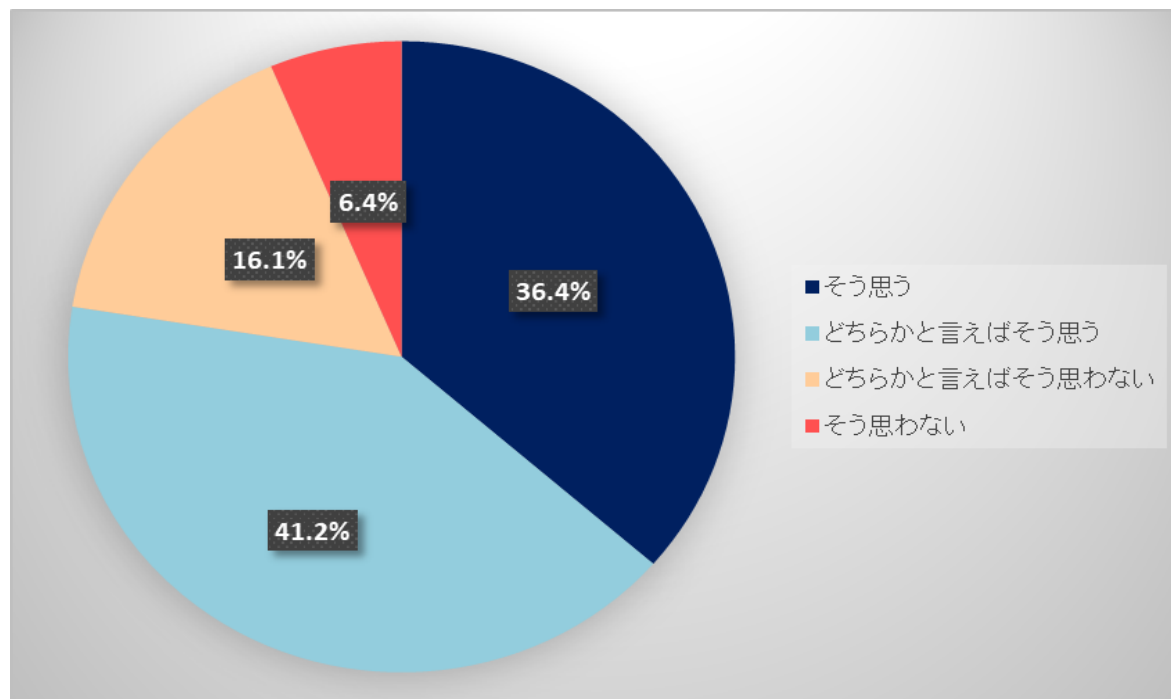


- ・そう思うが37.4%、どちらかと言えばそう思うが42.7%となり、全体の80.1%が相対的に業務内容や責任に見合った給与を受けていると回答しており、相対的に見合った給与を受けていないと回答した割合は、19.9%となっている。
- ・年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が86.5%と最も高く、20代以下が62.5%と最も低くなっている。

給与制度等について(2)



Q12 現在よりも高い給与・報酬で働きたい。

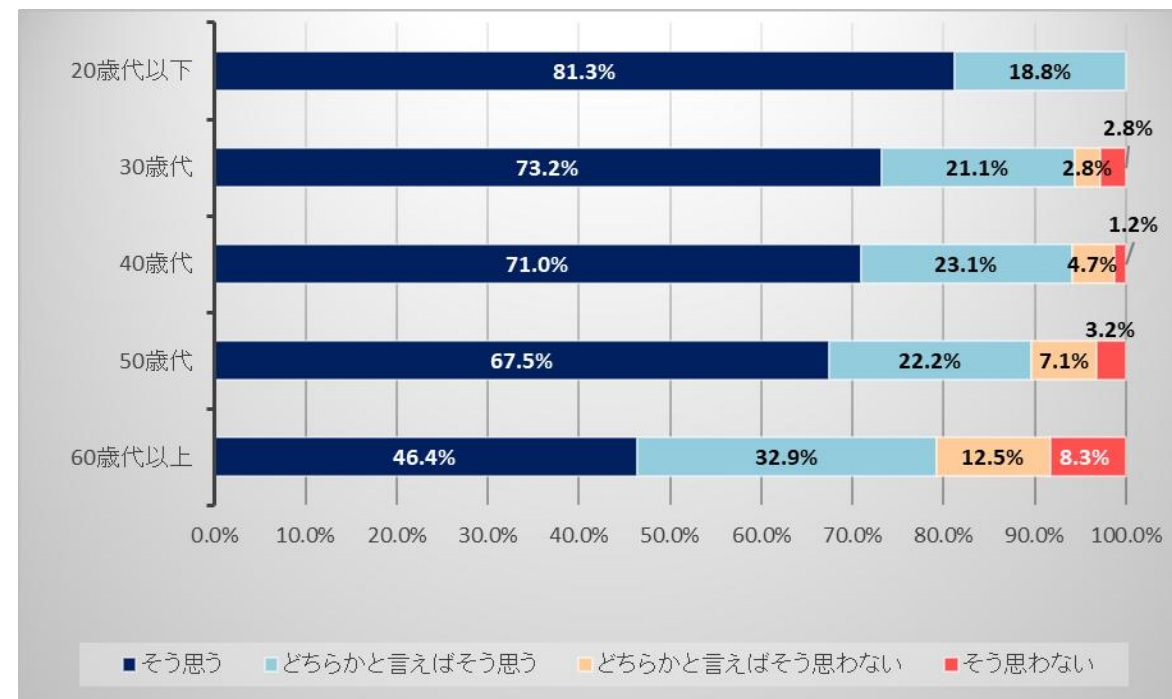
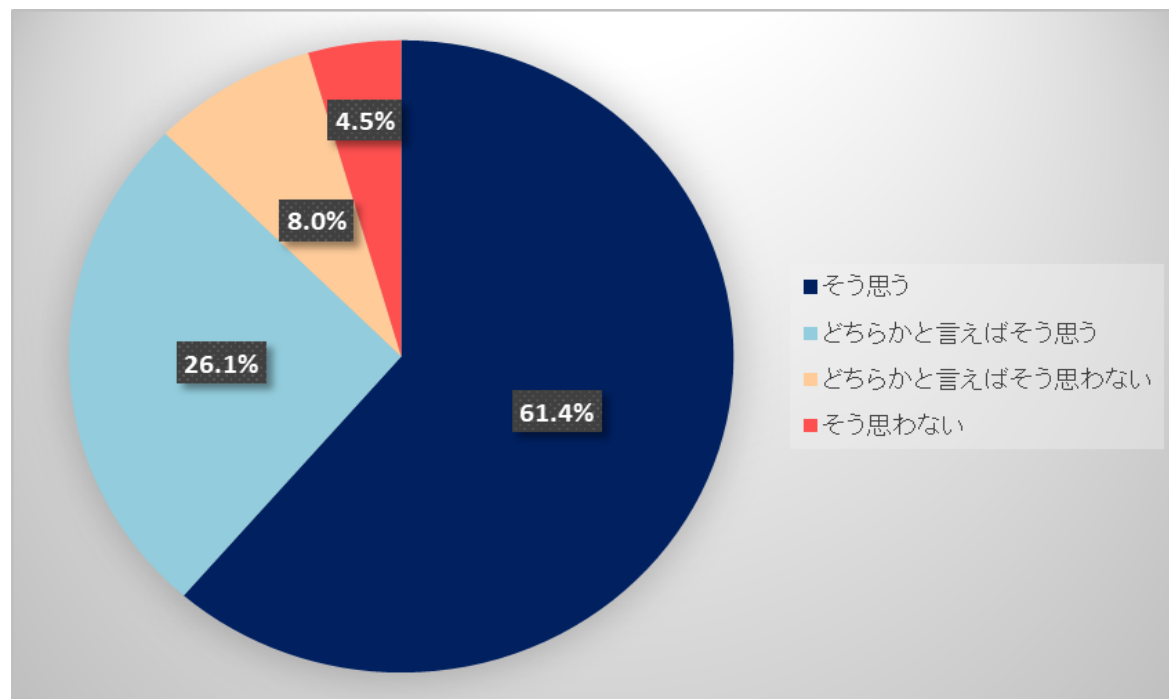


- ・そう思うが36.4%、どちらかと言えばそう思うが41.2%となり、全体の77.6%が相対的に現在よりも高い給与・報酬で働きたいと回答している。
- ・年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、20代以下が100.0%と最も高く、そう思うと回答した割合は、年代が高くなるにつれて低下している。

給与制度等について(3)



Q13 現在よりも長い期間安定して働きたい。



- ・そう思うが61.4%、どちらかと言えばそう思うが26.1%となり、全体の87.5%が相対的に現在よりも長い期間安定して働きたいと回答している。
- ・年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、20代以下が100.0%と最も高く、60代以上が79.3%と最も低くなっており、そう思うと回答した割合は、年代が高くなるにつれて低下している。



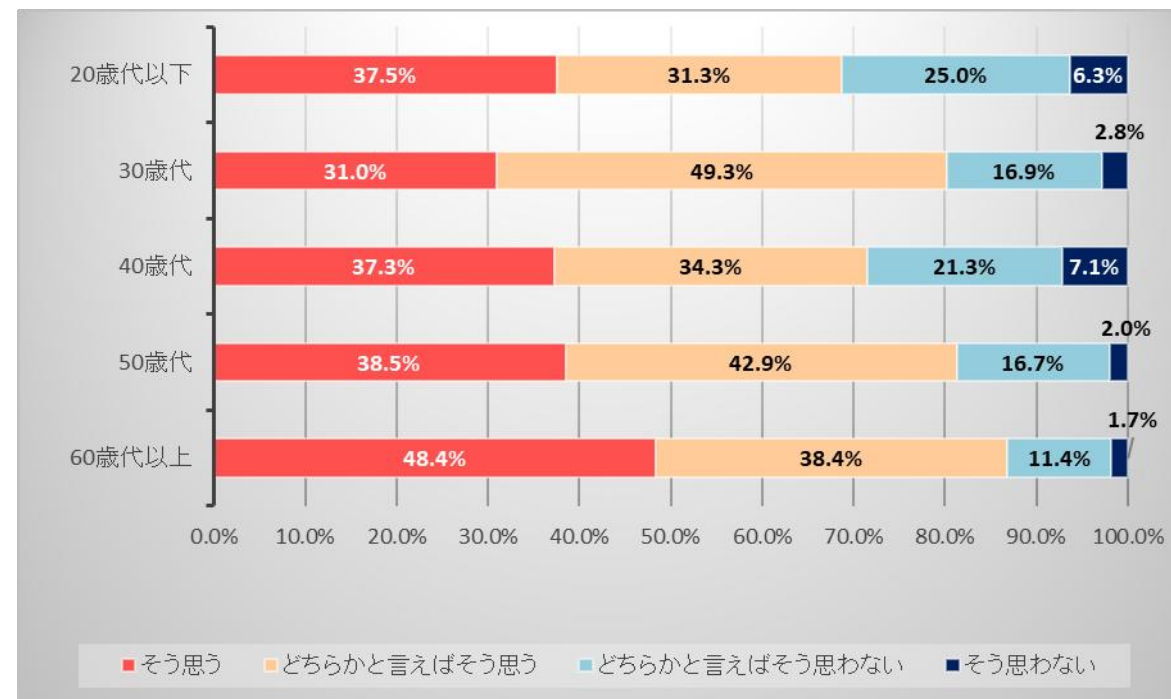
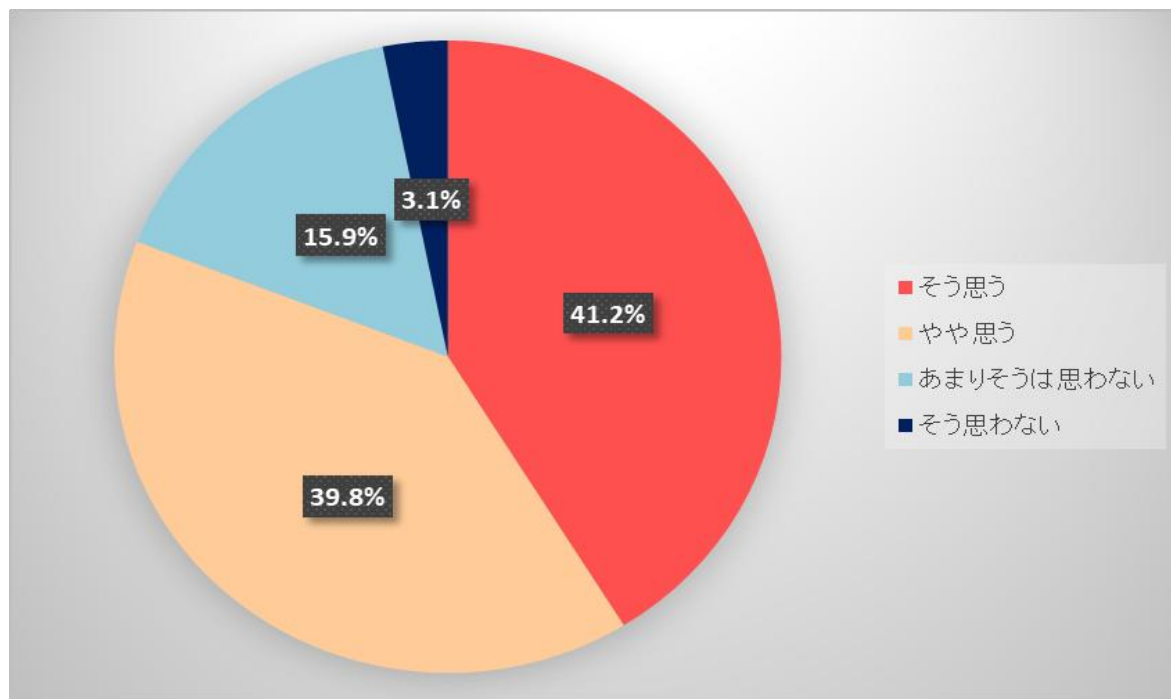
iv 労働環境について【単純集計・クロス集計】

ASAHIKAWA CITY

労働環境について(1)



Q14 現在の業務量は適切である。

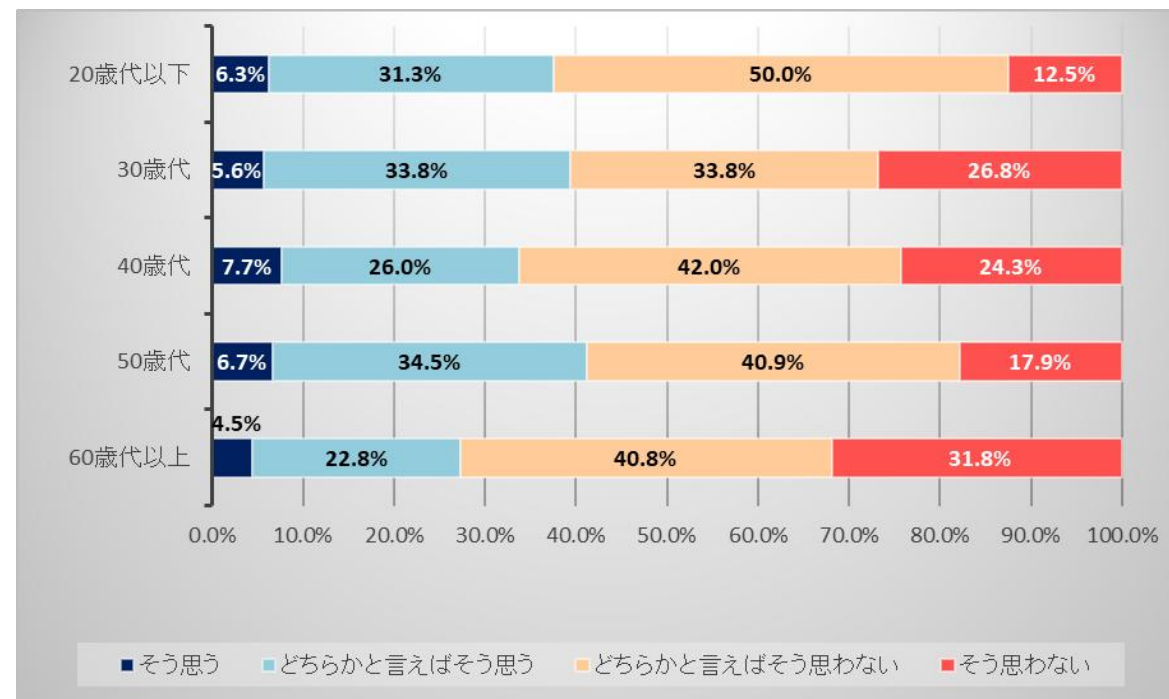
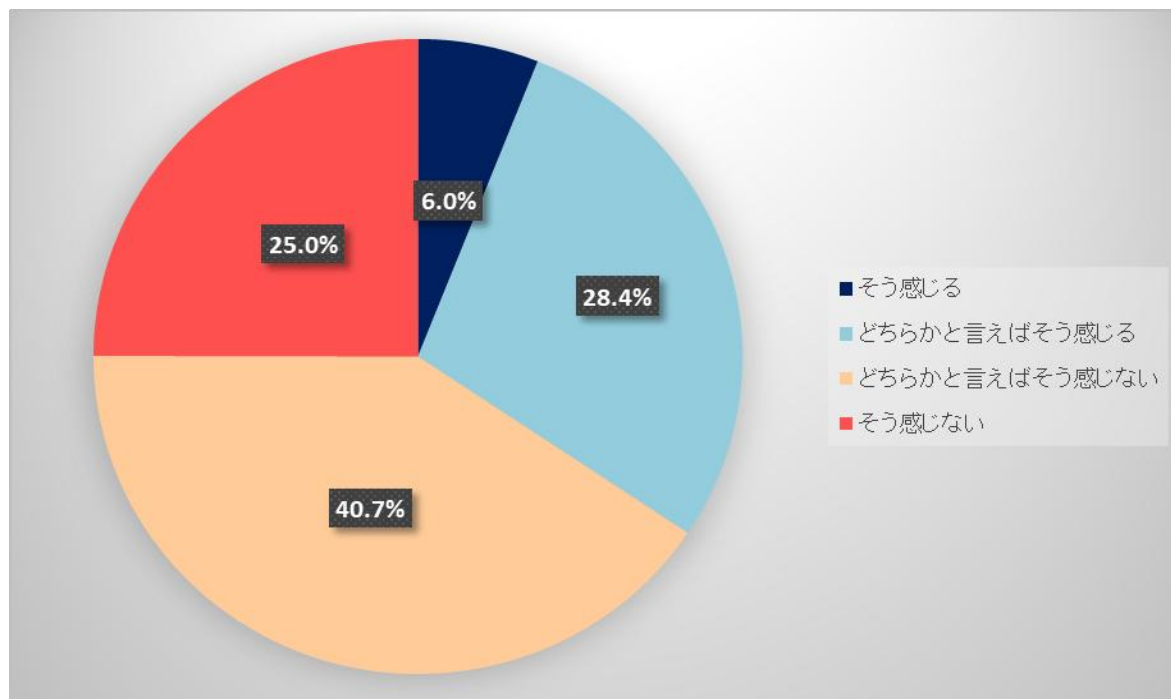


- ・ そう思うが41.2%、どちらかと言えばそう思うが39.8%となり、全体の81.0%が相対的に現在の業務量は適切であると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が86.8%と最も高く、20代以下が68.8%と最も低くなっている。

労働環境について(2)



Q15 現在の業務や仕事上で過度な負担を感じる。

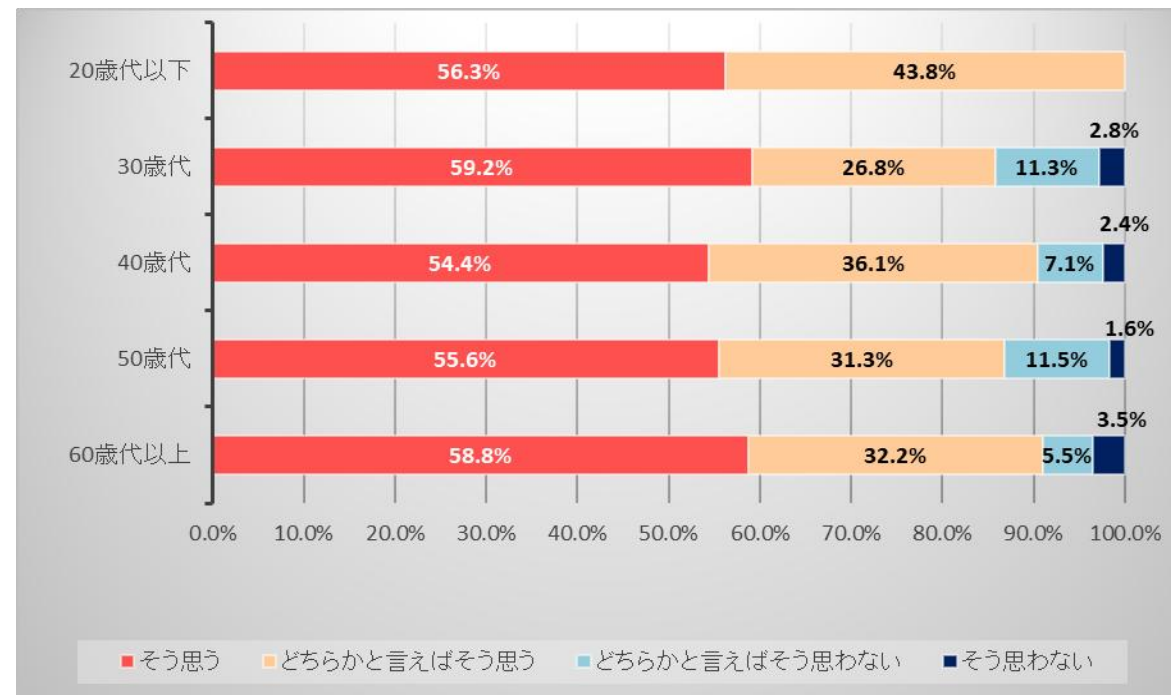
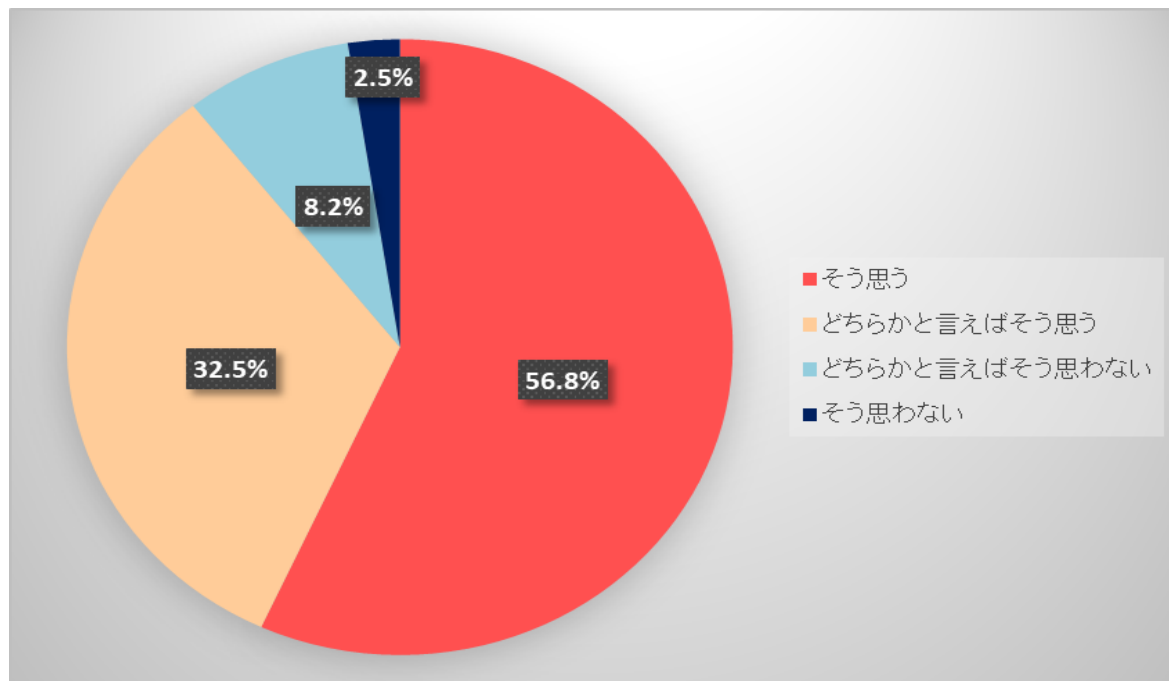


- ・ そう思うが6.0%、どちらかと言えばそう思うが28.4%となり、全体の34.4%が相対的に現在の業務や仕事上で過度な負担を感じると回答しており、相対的に過度な負担を感じないと回答した割合は、65.7%となっている。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、50代を除く全ての年代で40%を下回っている。

労働環境について(3)



Q16 各種休暇が取得しやすい。

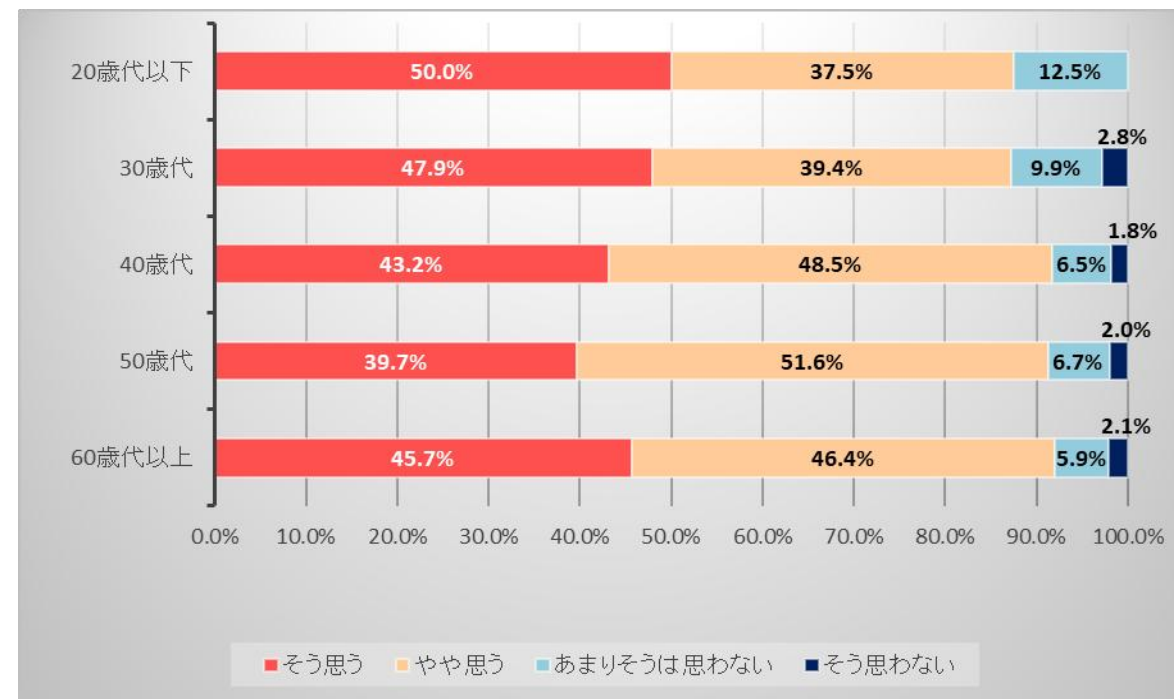
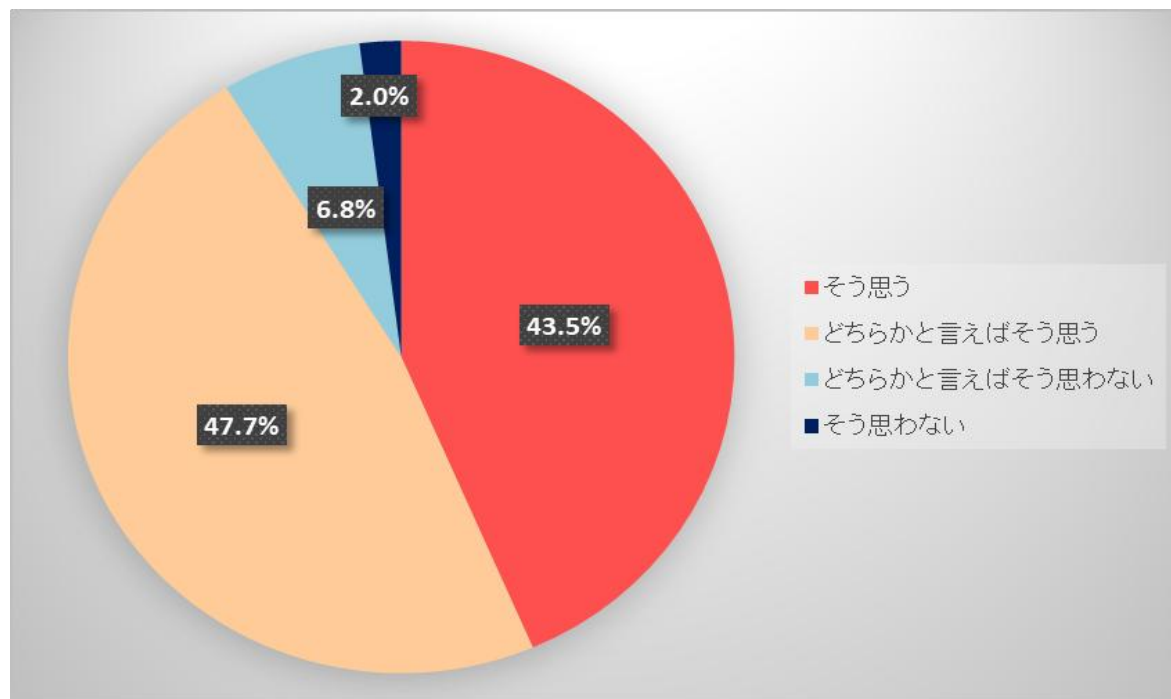


- ・ そう思うが56.8%、どちらかと言えばそう思うが32.5%となり、全体の89.3%が相対的に各種休暇が取得しやすいと回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、20代以下が100.0%と最も高く、30代が86.0%と最も低くなっており、全ての年代で85%を上回っている。

労働環境について(4)



Q17 仕事と生活の両方のバランスが取れ、充実している。



- ・ そう思うが43.5%、どちらかと言えばそう思うが47.7%となり、全体の91.2%が相対的に仕事と生活のバランスが取れ、充実していると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が92.1%と最も高く、30代以下が87.3%と最も低くなっており、40代以上の全ての年代で90%を上回っている。



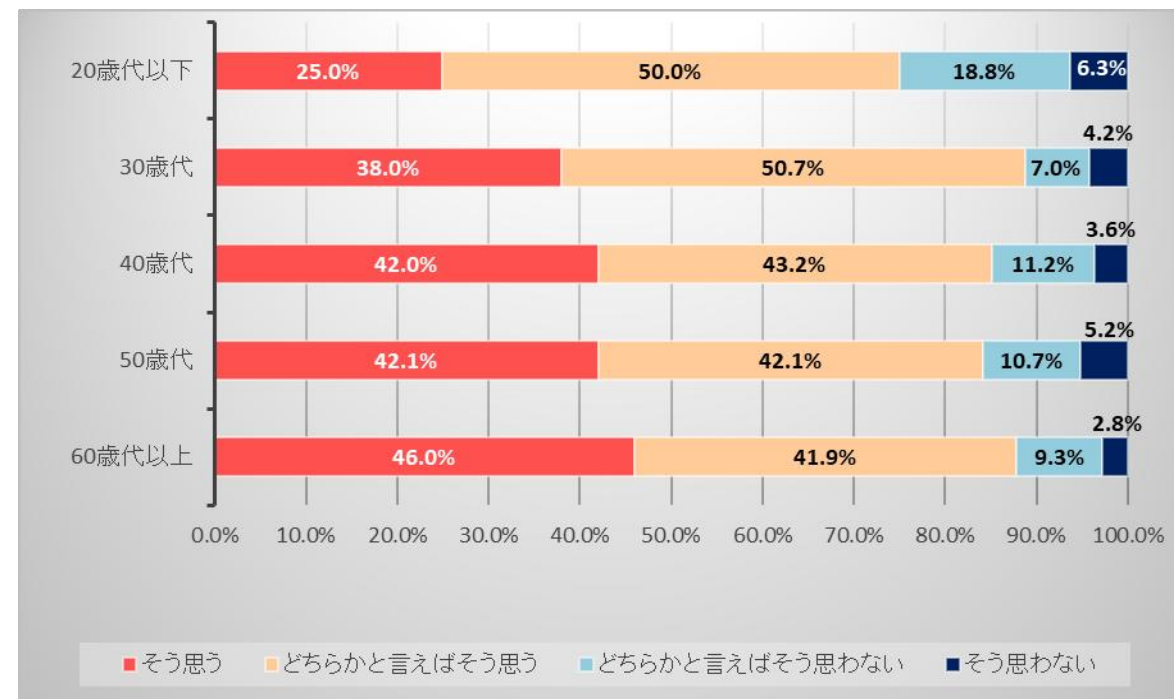
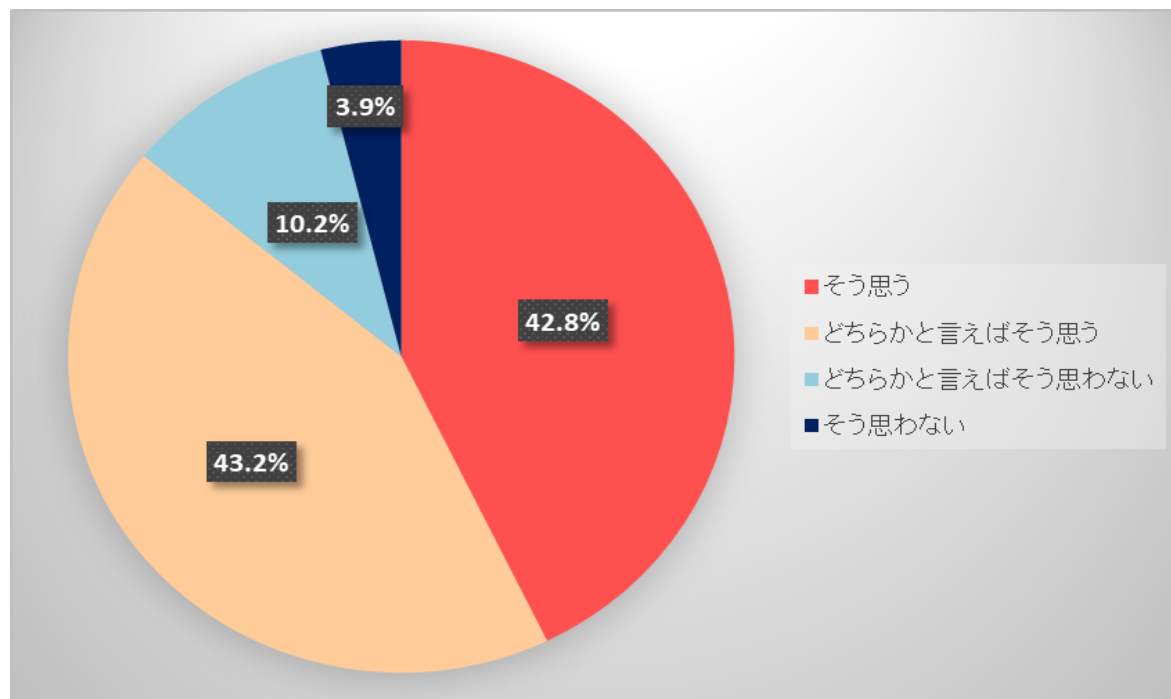
v 職場について【単純集計・クロス集計】

ASAHIKAWA CITY

職場について(1)



Q18 職場の雰囲気や人間関係が良い。

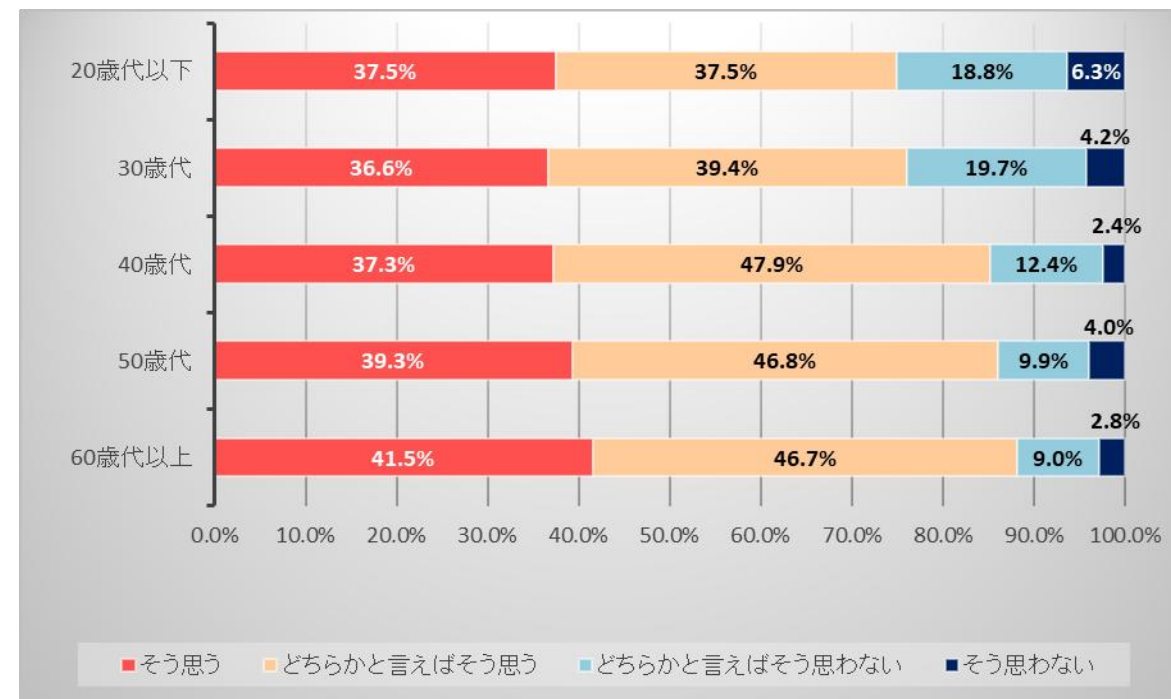
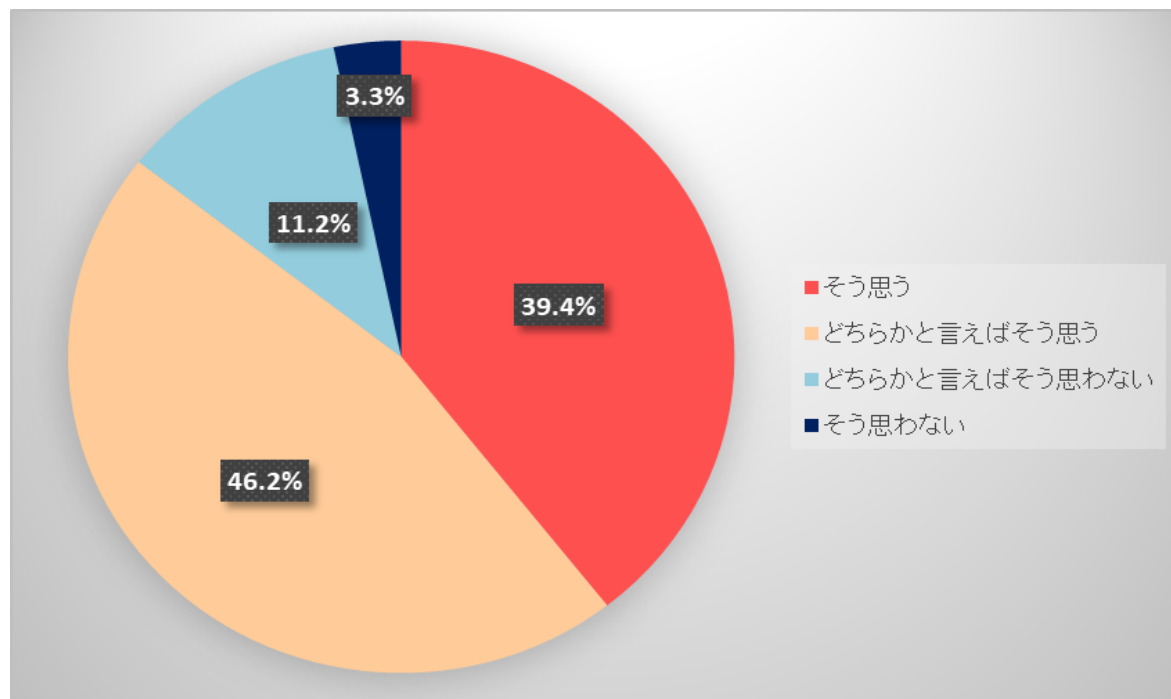


- ・ そう思うが42.8%、どちらかと言えばそう思うが43.2%となり、全体の86.0%が相対的に職場の雰囲気や人間関係が良いと回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、30代が88.7%と最も高く、20代以下が75.0%と最も低くなっており、20代以下を除く全ての年代で80%を上回っている。

職場について(2)



Q19 職場では互いに意思疎通が図られ、協力し合っている。

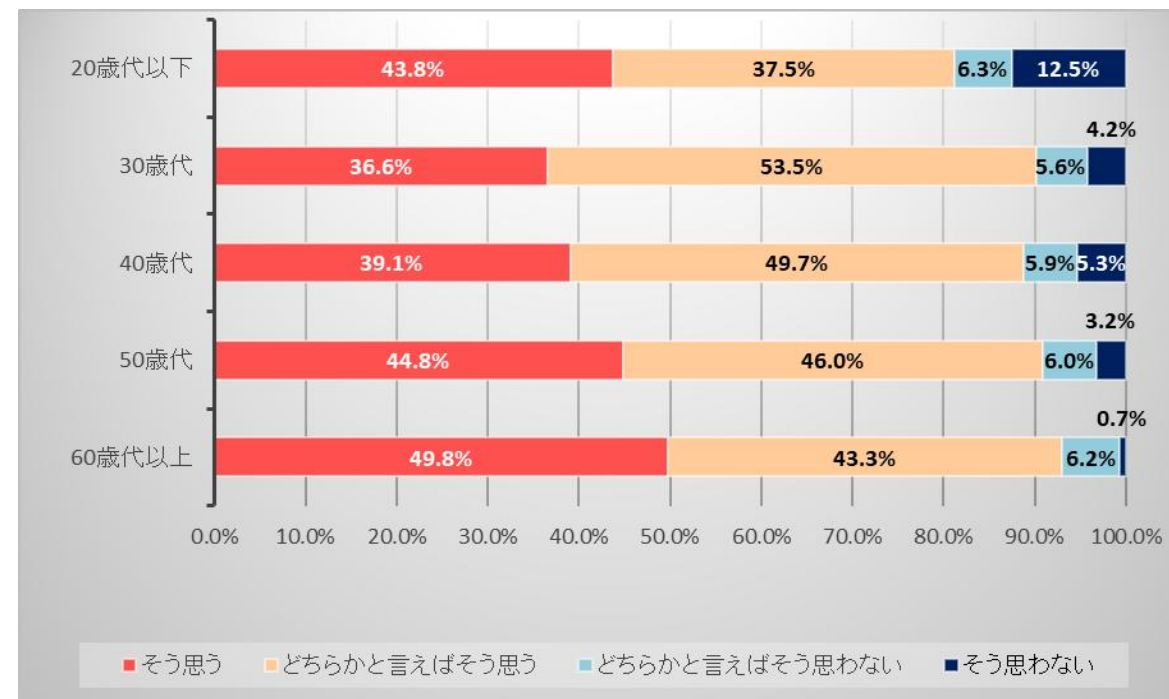
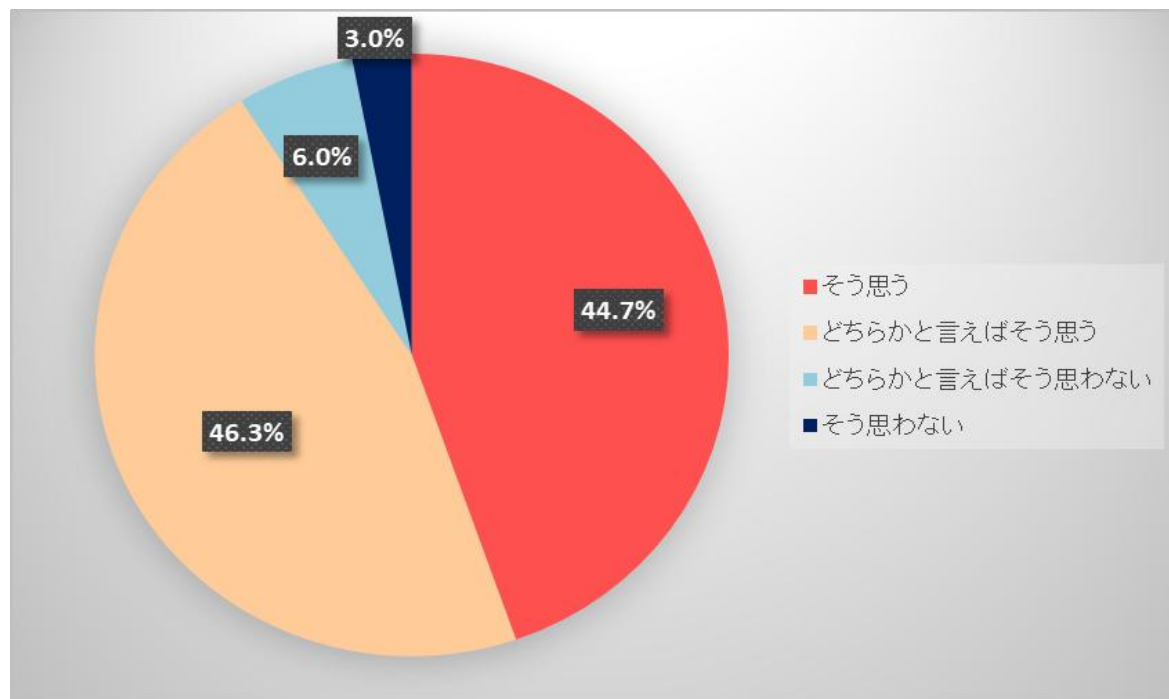


- ・ そう思うが39.4%、どちらかと言えばそう思うが46.2%となり、全体の85.6%が相対的に職場では互いに意思疎通が図られ、協力し合っていると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が88.2%と最も高く、20代以下が75.0%と最も低くなっている。

職場について(3)



Q20 職場はコンプライアンス（法令遵守）の意識が高い。

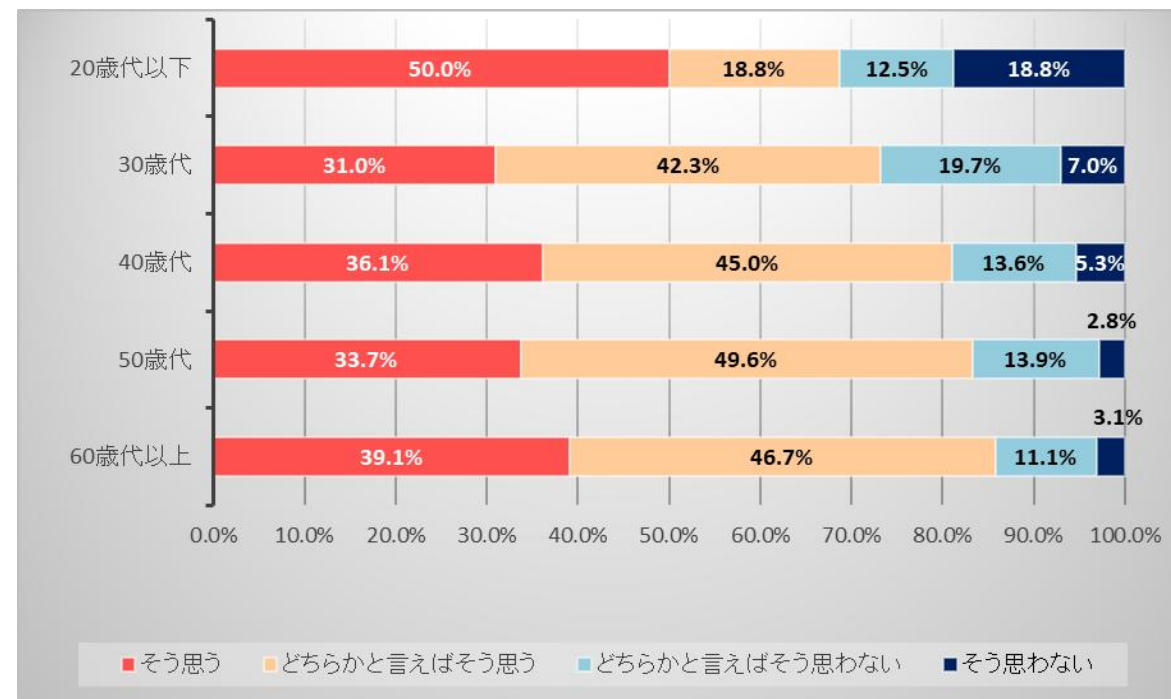
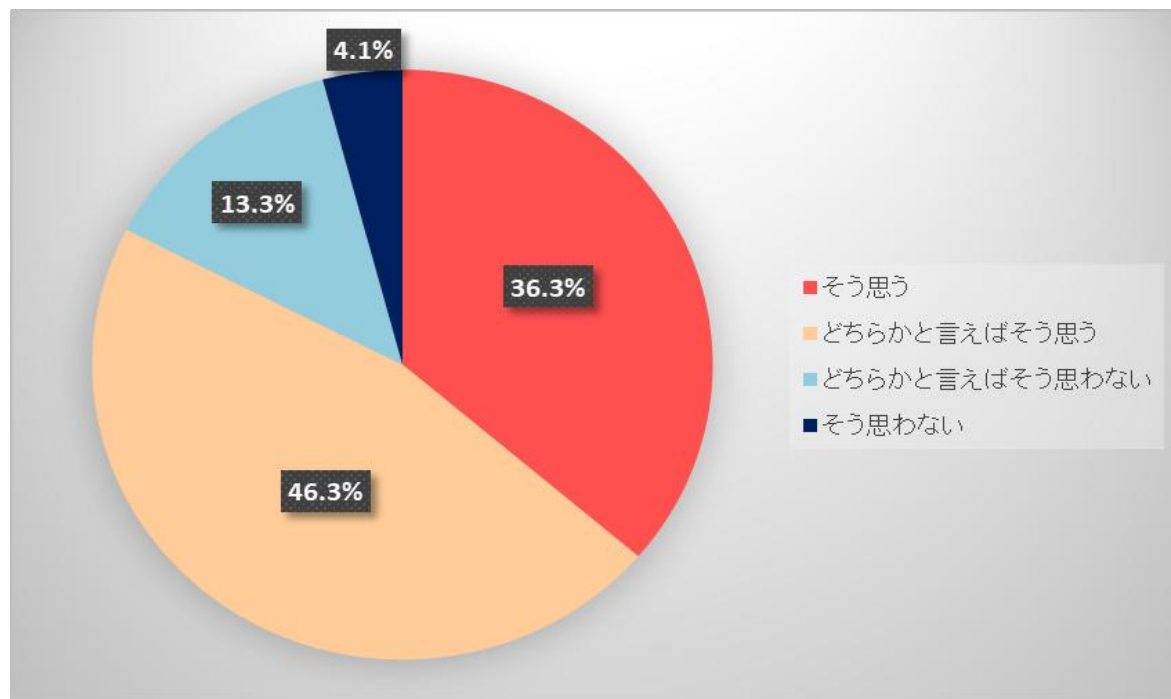


- ・そう思うが44.7%、どちらかと言えばそう思うが46.3%となり、全体の91.0%が相対的に職場はコンプライアンスの意識が高いと回答している。
- ・年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が93.1%と最も高く、20代以下が81.3%と最も低くなっており、全ての年代で80%を上回っている。

職場について(4)



Q21 仕事や職場において職員から適切に説明・指導が行われている。



- ・ そう思うが36.3%、どちらかと言えばそう思うが46.3%となり、全体の82.6%が相対的に仕事や職場において職員から適切な説明・指導が行われていると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が85.8%と最も高く、年代が高くなるにつれて上昇している。



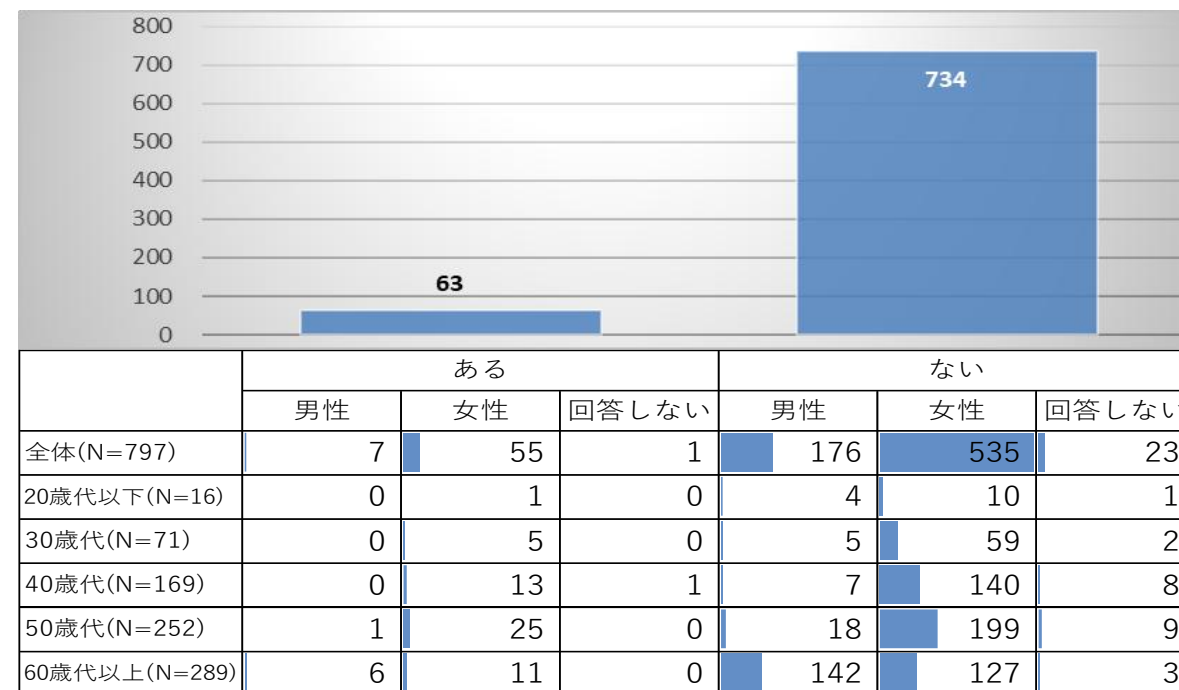
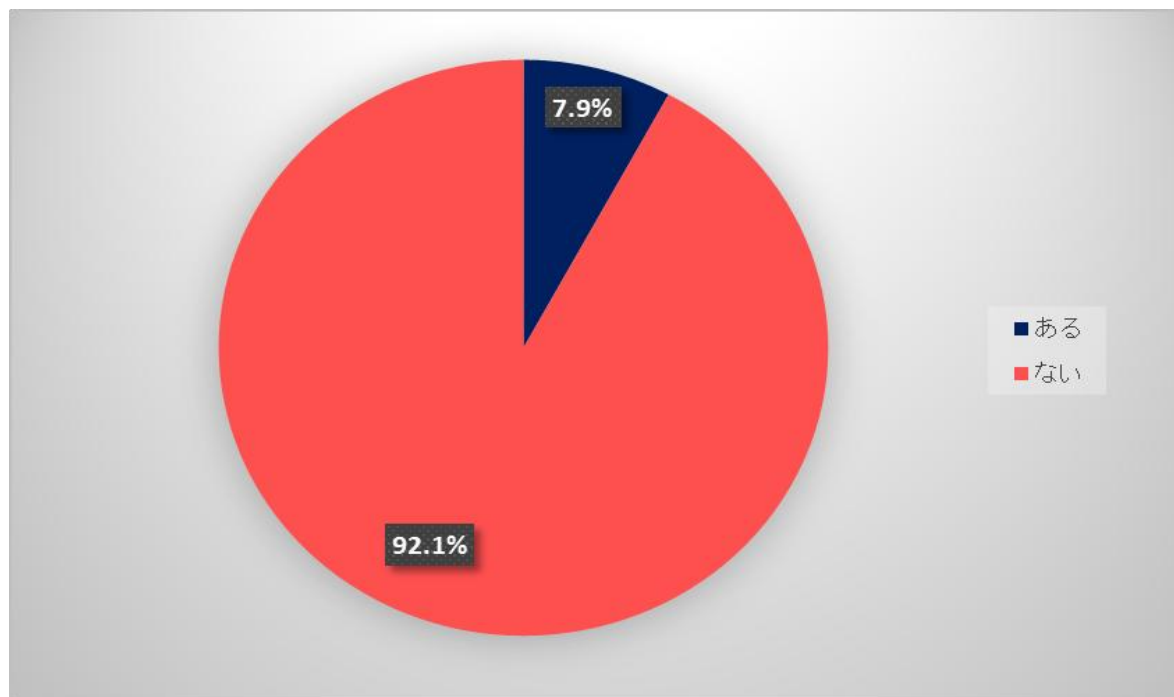
vi 各種ハラスメントについて【単純集計・クロス集計】

ASAHIKAWA CITY

各種ハラスメントについて(1)



Q22 前回の職員意識調査（令和6年7月）以降、職場でハラスメント（カスタマーハラスメントを除く）と思われる行為を受けたことがある。※既に「ハラスメントに関する苦情相談窓口」に相談したものを除く。

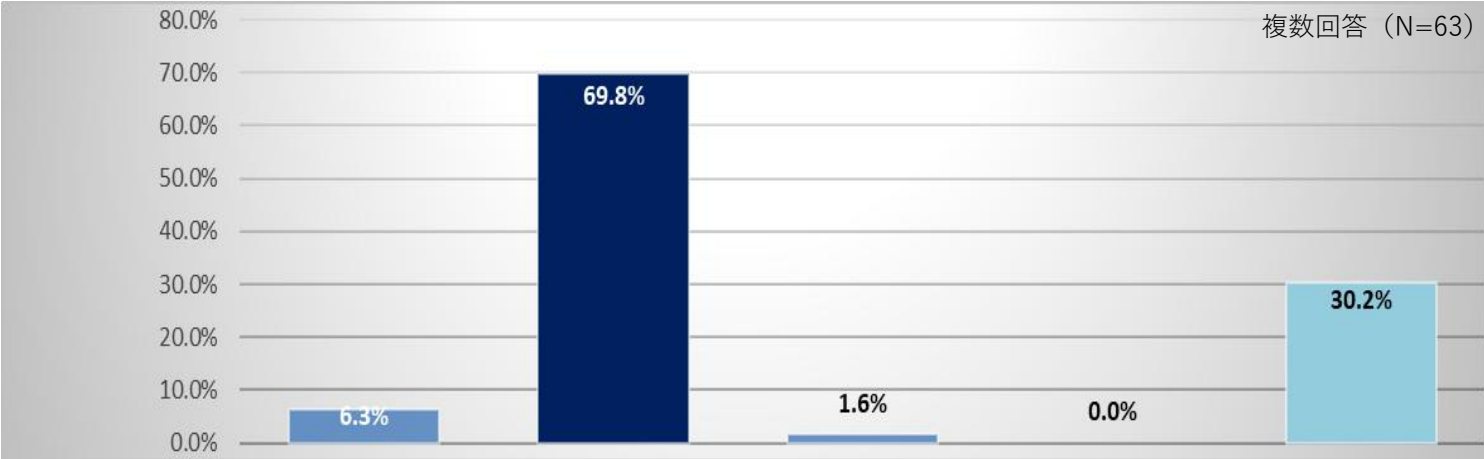


- ・ハラスメントと思われる行為を受けたことがあると回答した割合は、全体で7.9%、63人となっている。
- ・年代別では、50代が26人と最も多く、各年代の回答数に占める割合でも50代が10.3%と最も高く、次に40代が8.3%の順になっている。
- ・性別の回答数に占める割合では、男性が3.8%（7人）、女性が9.3%（55人）、回答しないが4.2%（1人）となっている。

各種ハラスメントについて(2)



Q23 ハラスメントと思われる行為は、どのようなものでしたか。(複数回答可)



	セクシュアルハラスメント	パワーハラスメント	妊娠（不妊治療を受けることに関するものを含む）、出産、育児又は介護に関するハラスメント	性的指向や性自認に関するハラスメント	その他
全体(N=63)	6.3%	69.8%	1.6%	0.0%	30.2%
20歳代以下(N=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(N=5)	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
40歳代(N=14)	7.1%	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%
50歳代(N=26)	11.5%	69.2%	0.0%	0.0%	30.8%
60歳代以上(N=17)	0.0%	64.7%	0.0%	0.0%	41.2%

- ・ Q22であると回答した人のうち、パワーハラスメントが69.8%と最も高く、全ての年代で最も高くなっている。
- ・ その他では、カスハラ、スメハラなどの回答がある。

【その他の意見の一部】

(40代女性)

仕事をしない同僚の相談をしたが、対応や説明にいい加減さを感じた。どこにも相談出来ない不安や、精神的にも物理的に仕事も増えて疲弊した。

(50代女性)

頭を叩かれた。指導が厳しかったのか心の問題と言われ休暇を取り、こちらに非があるように言われた。

(60代男性)

精神的な嫌がらせと思える言動を意図的にする（関係性のない人にも依頼してさせる）。

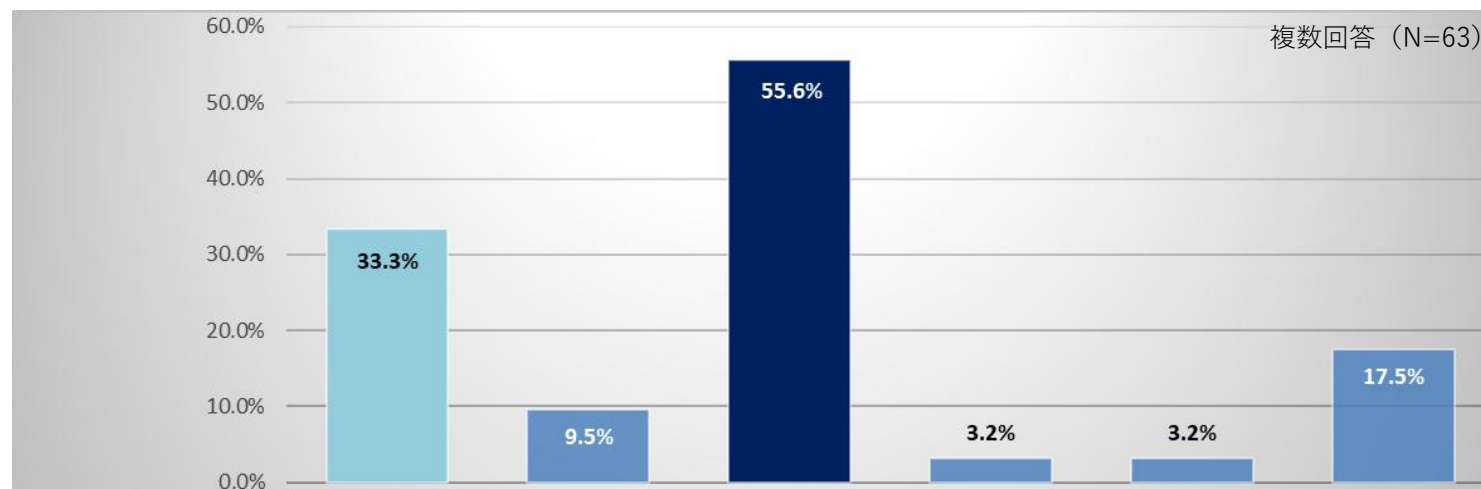
(60代以上女性)

上司から『市の財政難から会計年度職員を減らしている、以前に（別の部署の）会計年度で、一年で辞めるつもりとか長く働かないなどと言う人もいる。あなたはまだ辞めないのか？』と聞かれた。退職勧告と受け止めた。

各種ハラスメントについて(3)



Q24 そのハラスメントと思われる行為を行ったのは誰でしたか。(複数回答可)



- ・ Q22であると回答した人のうち、同僚が55.6%と最も高く、次に所属部署の上司が33.3%となっている。
- ・ その他では、事務職員、担任などの回答がある。

	所属部署の上	他部署の自分より上位の職員	同僚	部下	他部署の職員	その他
全体(N=63)	33.3%	9.5%	55.6%	3.2%	3.2%	17.5%
20歳代以下(N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30歳代(N=5)	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(N=14)	42.9%	14.3%	50.0%	0.0%	7.1%	28.6%
50歳代(N=26)	26.9%	11.5%	57.7%	3.8%	3.8%	15.4%
60歳代以上(N=17)	29.4%	5.9%	64.7%	5.9%	0.0%	11.8%

【その他の意見の一部】

- (20代以下女性) 先輩
- (40代女性) 所属部署の自分より上位の教諭
- (40代女性) 代替
- (50代女性) お客
- (50代女性) 患者
- (60代以上男性) 全然関係性のない人にもさせている。

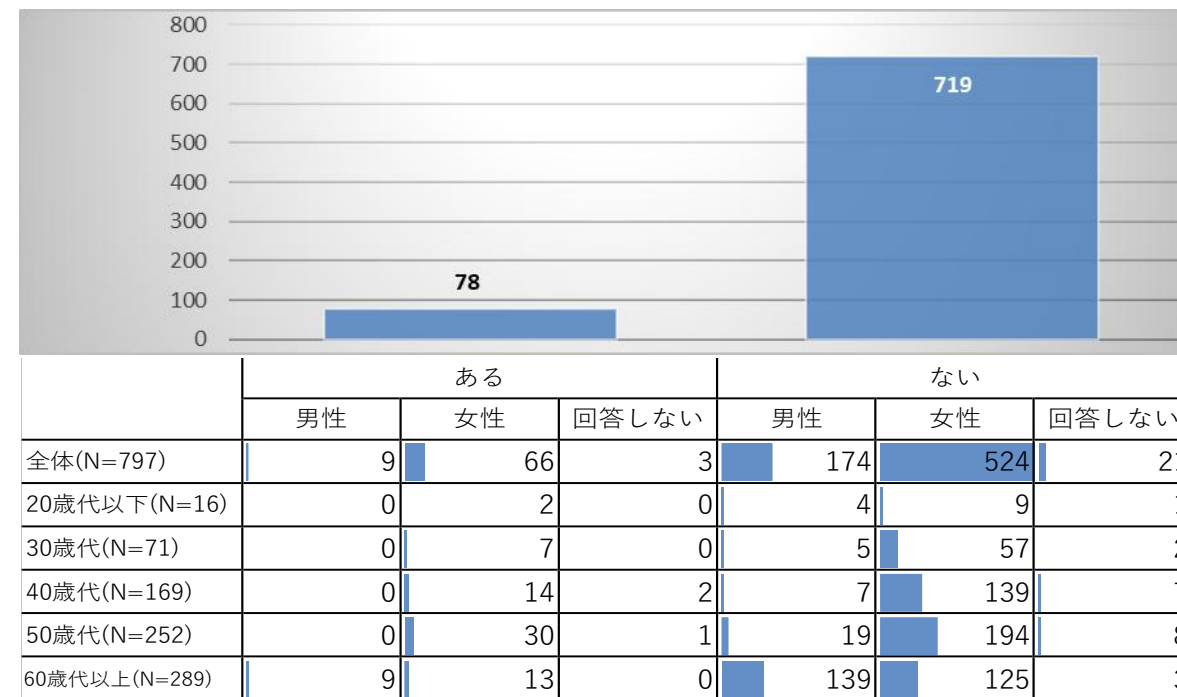
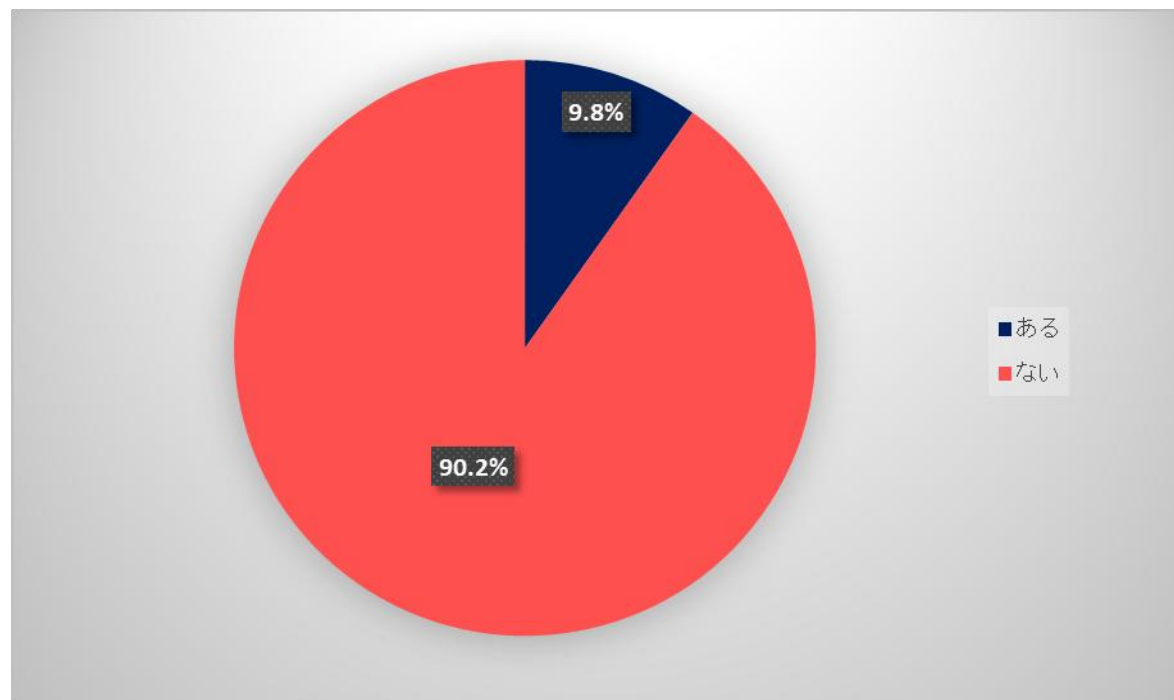
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(4)



Q25 前回の職員意識調査（令和6年7月）以降、職場でハラスメント（カスタマーハラスメントを除く）と思われる行為を見聞きしたことがある。※既に「ハラスメントに関する苦情相談窓口」に相談したものを除く。

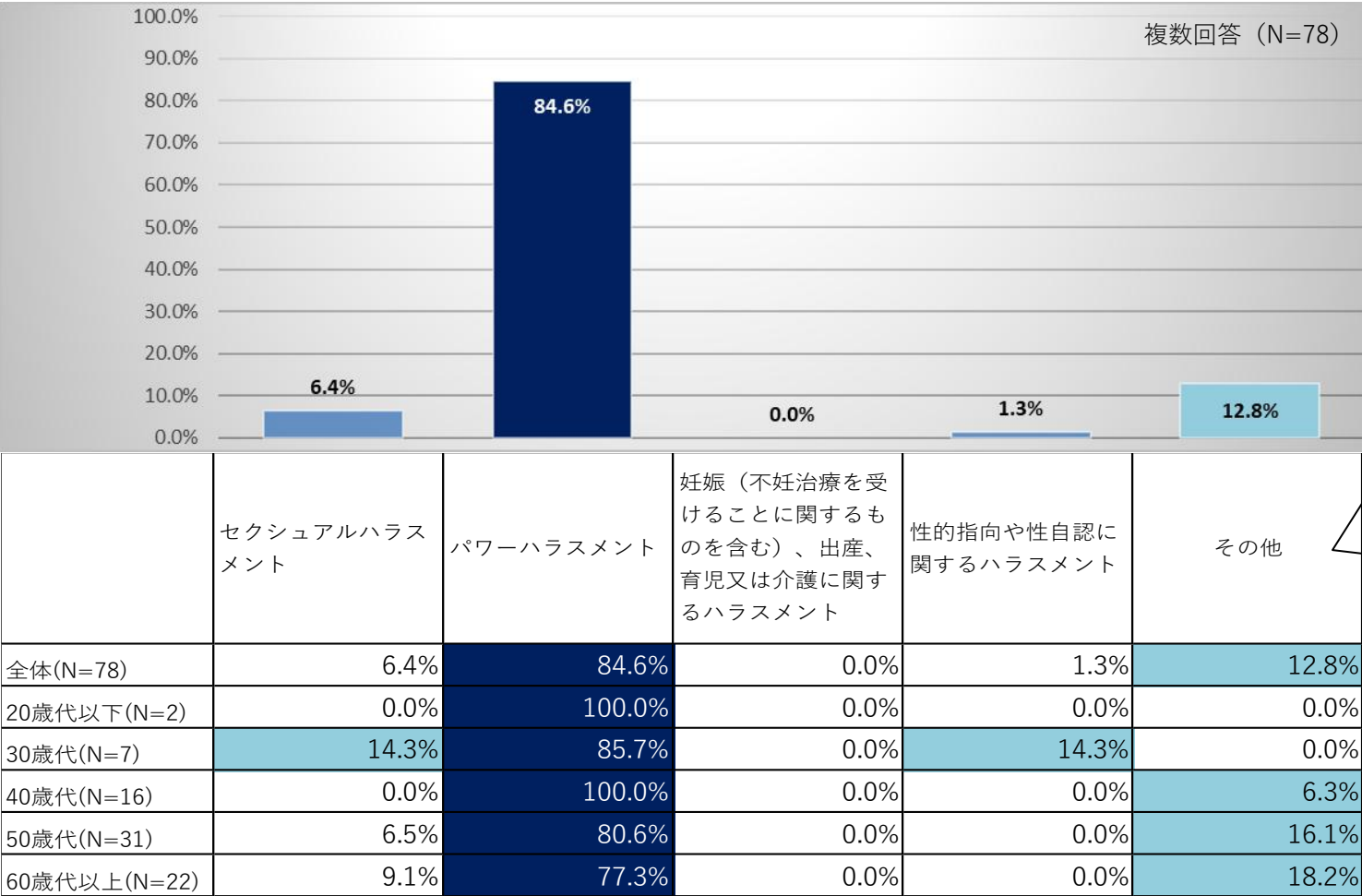


- ・ハラスメントと思われる行為を見聞きしたことがあると回答した割合は、全体で9.8%、78人となっており、Q22でハラスメントと思われる行為を受けたことがあると回答した割合（7.9%）よりも高くなっている。
- ・年代別では、50代が31人と最も多く、各年代の回答数に占める割合では、20代以下が12.5%と最も高くなっている。
- ・性別の回答数に占める割合では、男性が4.9%（9人）、女性が11.2%（66人）、回答しないが12.5%（3人）となっている。

各種ハラスメントについて(5)



Q26 ハラスメントと思われる行為は、どのようなものでしたか。(複数回答可)



- ・ Q25であると回答した人のうち、パワーハラスメントが84.6%と最も高くなっている。
- ・ その他では、他人に対する暴言などの回答がある。

【その他の意見の一部】

(40代女性) 不機嫌を撒き散らしたり、あの人は発達障害だと言ったり、嫌いだから一緒に仕事したくないと言ったり、飛ばしてやると言ったりしている。

(50代女性) モラハラ

(50代女性) 患者からの恫喝

(60代女性) 髪型 化粧 服装など

(60代以上女性) 自分と同様に退職勧告。同僚が『年金をもらっているから、もう働かなくても良いでしょう?』と言われたと聞いた。

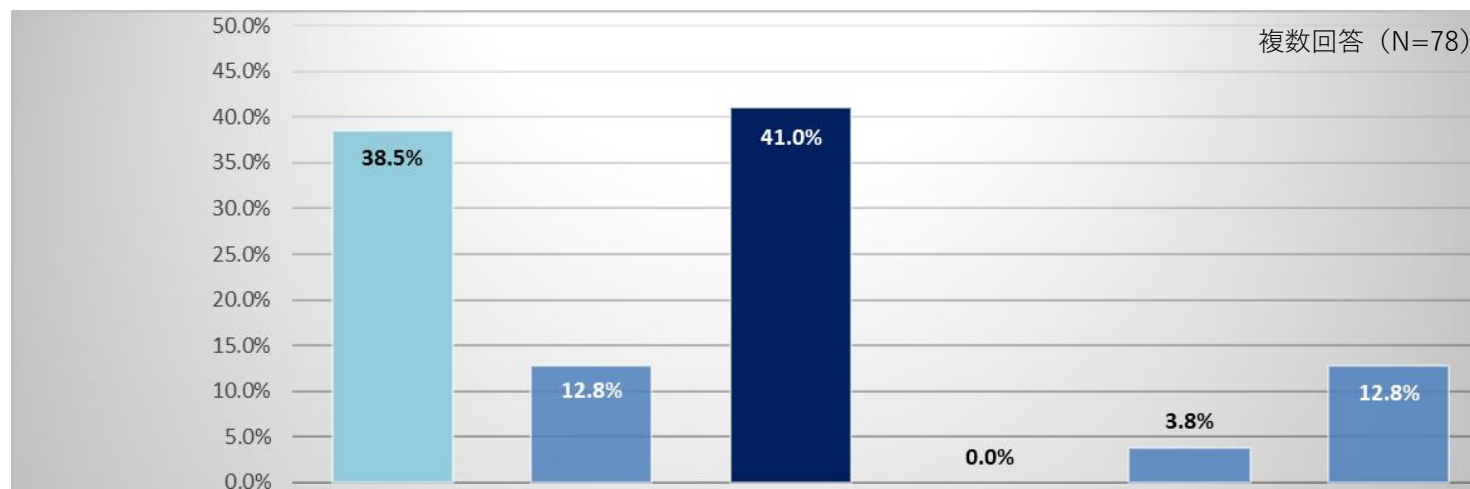
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(6)



Q27 そのハラスメントと思われる行為を行ったのは誰でしたか。(複数回答可)



- ・ Q25であると回答した人のうち、同僚が41.0%と最も高く、次に所属部署の上司が38.5%となっており、回答の割合が高い項目は、Q24と同様となっている。
- ・ その他では、市民、患者などの回答がある。

	所属部署の上司	他部署の自分より上位の職員	同僚	部下	他部署の職員	その他
全体(N=78)	38.5%	12.8%	41.0%	0.0%	3.8%	12.8%
20歳代以下(N=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
30歳代(N=7)	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%
40歳代(N=16)	68.8%	0.0%	31.3%	0.0%	0.0%	18.8%
50歳代(N=31)	32.3%	9.7%	41.9%	0.0%	3.2%	12.9%
60歳代以上(N=22)	18.2%	22.7%	54.5%	0.0%	4.5%	4.5%

【その他の意見の一部】

- (20代以下女性) 先輩
- (30代女性) 長く勤めている社員や会計職員
- (40代女性) 前任の管理職 (すでに異動)
- (40代女性) 指導員
- (60代以上女性) 立場の違う仕事についている人

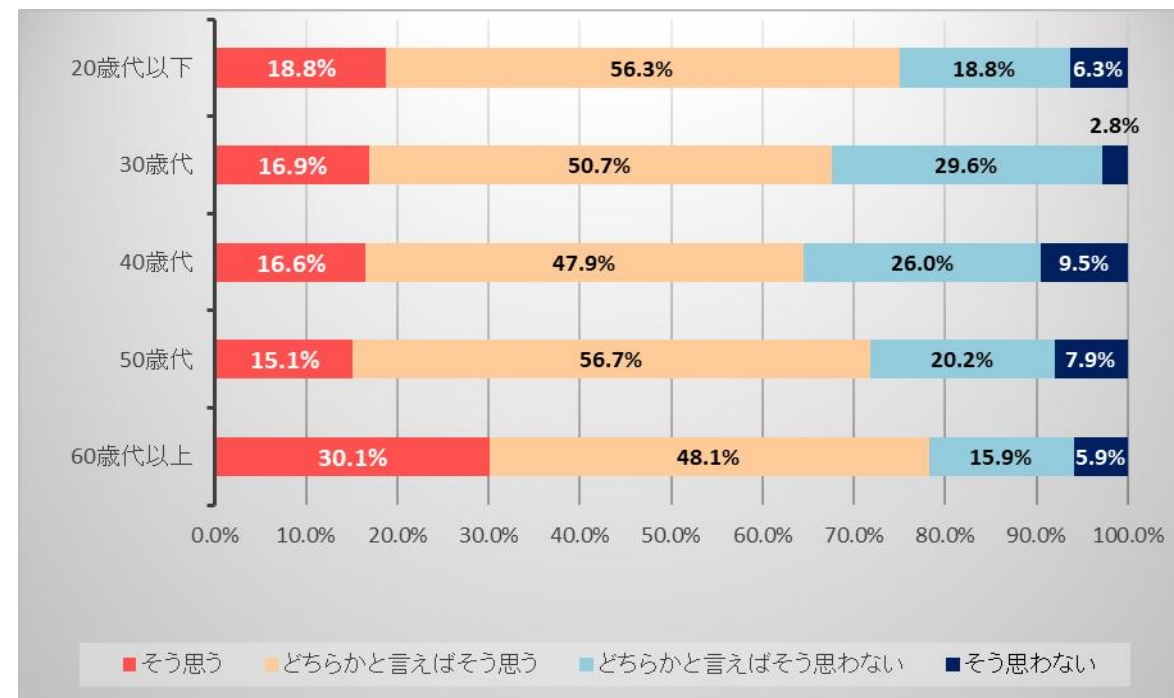
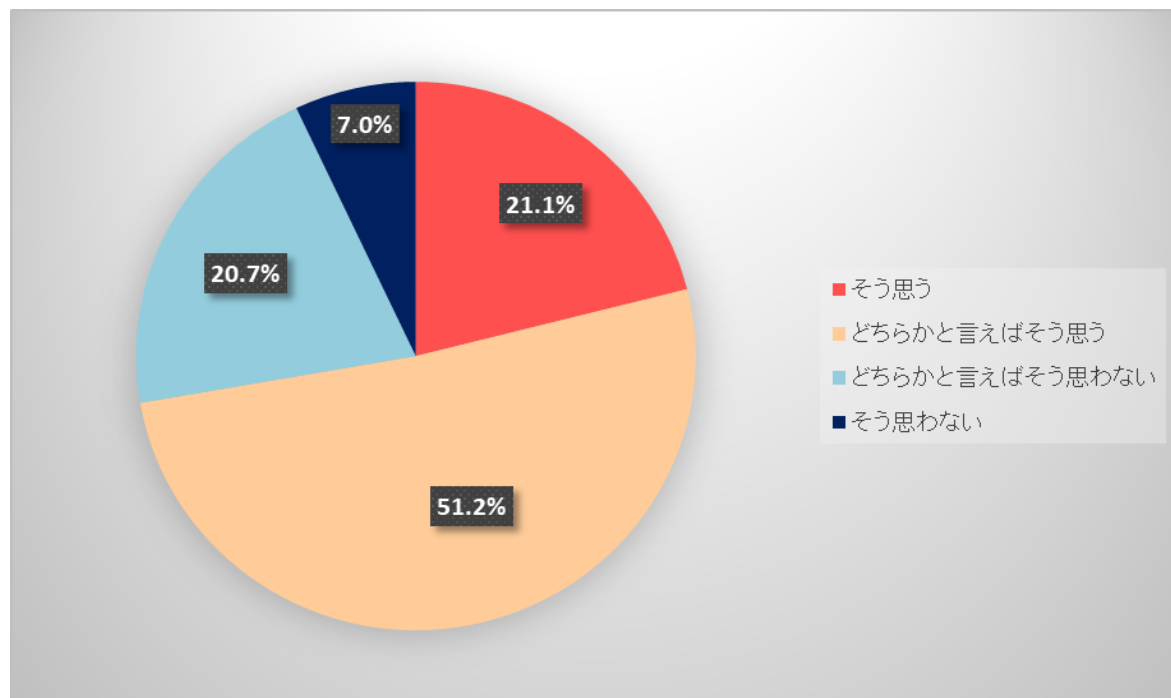
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(7)



Q28 ハラスメント相談・解決機関として、人事課を含めた市の体制・取組を信頼している。

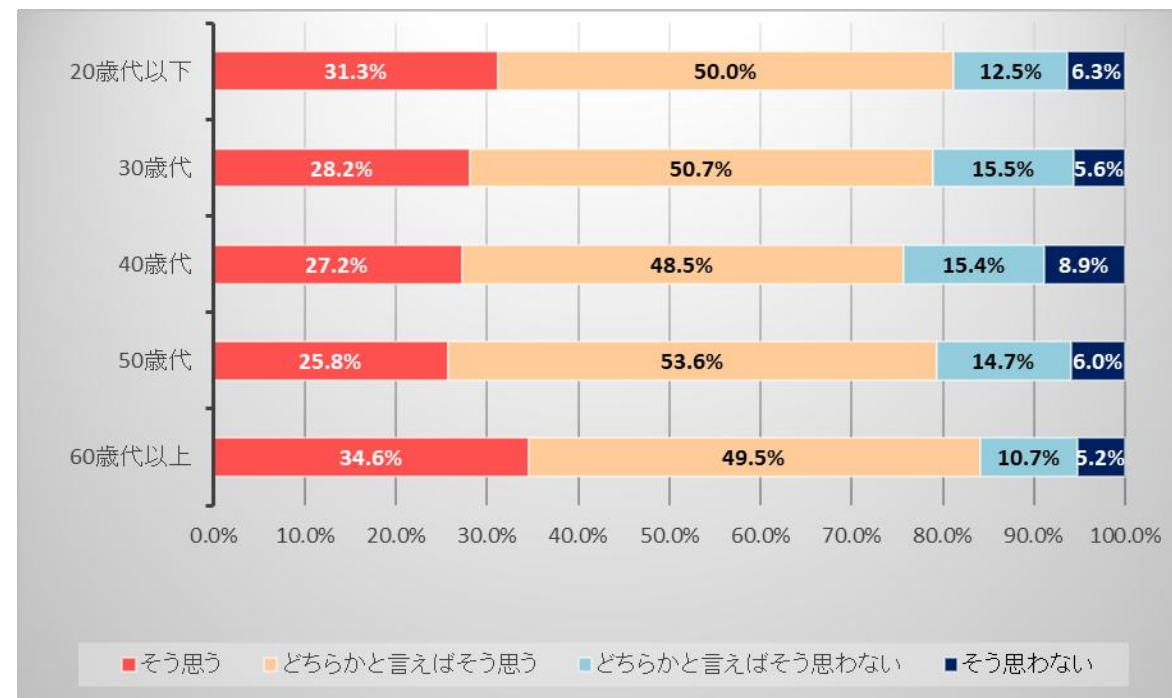
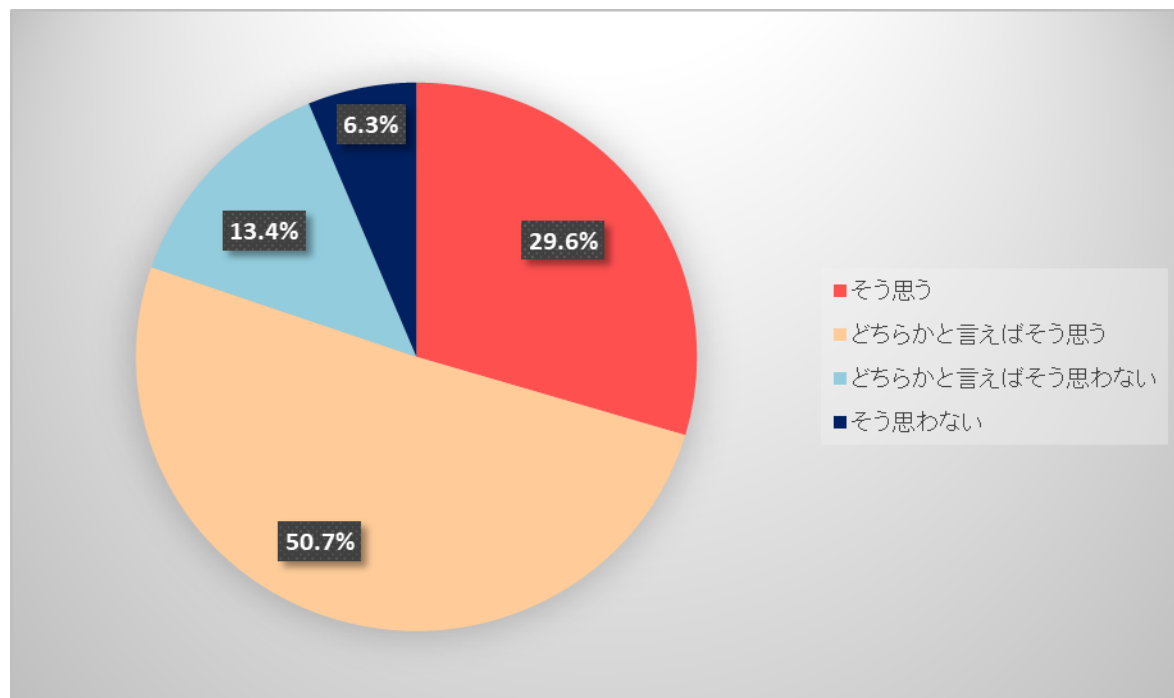


- ・ そう思うが21.1%、どちらかと言えばそう思うが51.2%となり、全体の72.3%が相対的にハラスメント相談・解決機関として、人事課を含めた市の体制・取組を信頼していると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が78.2%と最も高く、40代が64.5%と最も低くなっている。

各種ハラスメントについて(8)



Q29 職場は、ハラスメント（カスタマーハラスメントを除く）を許さない雰囲気がある。

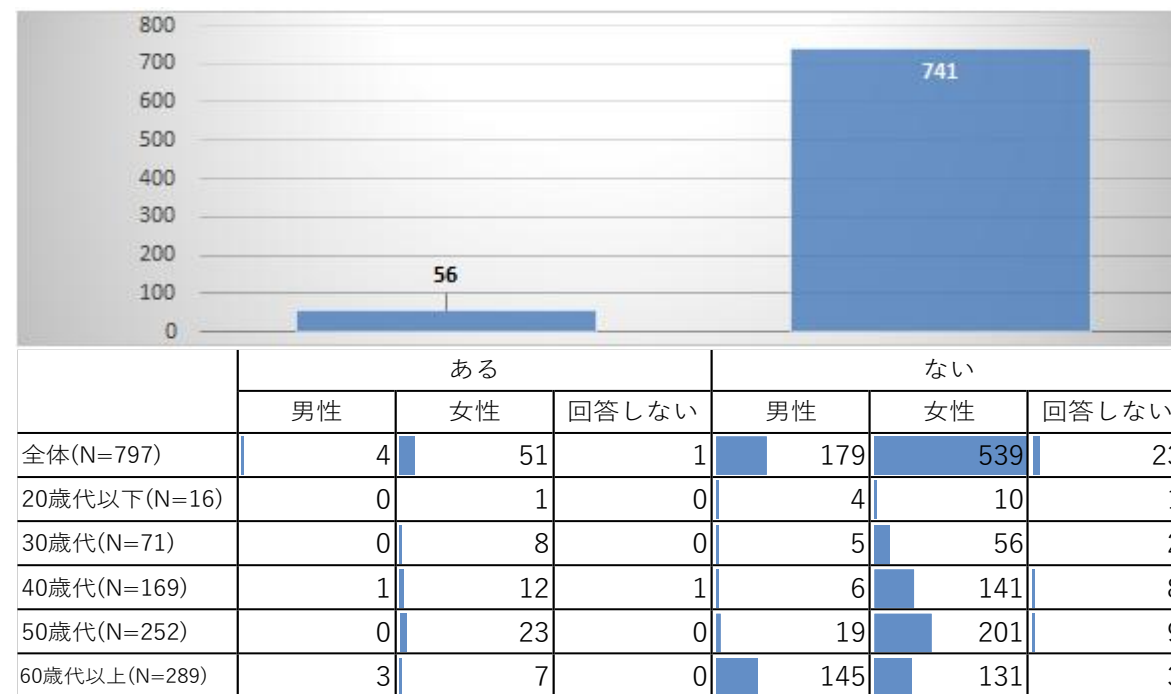
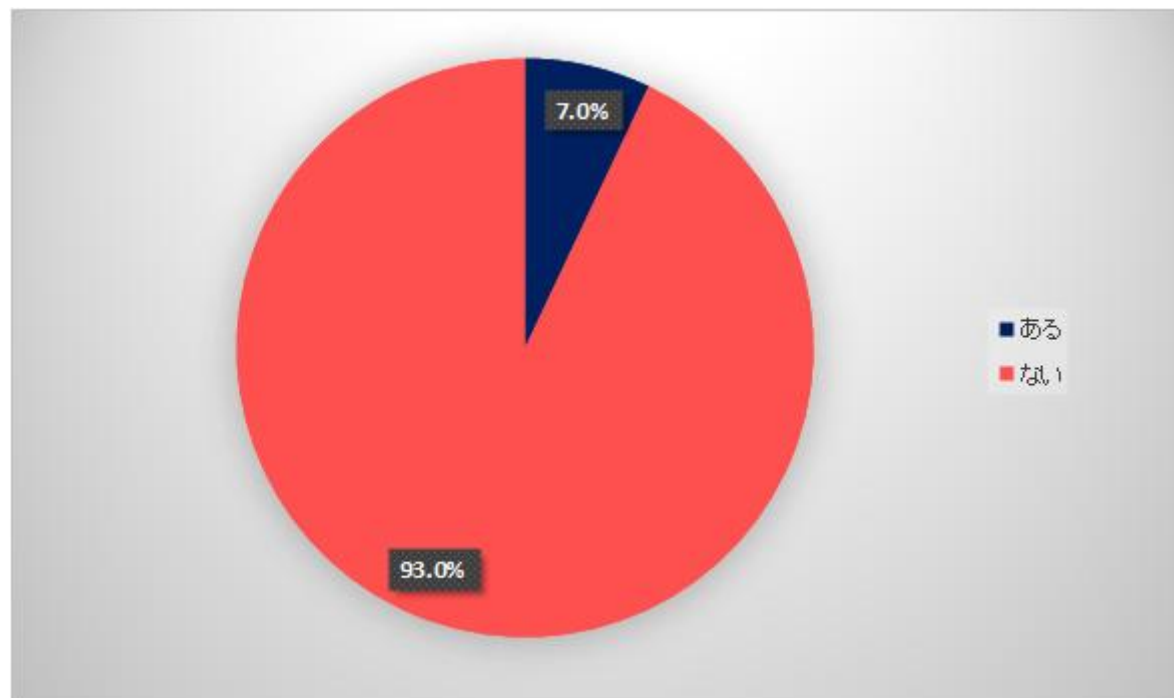


- ・ そう思うが29.6%、どちらかと言えばそう思うが50.7%となり、全体の80.3%が相対的に職場はハラスメントを許さない雰囲気があると回答している。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が84.1%と最も高く、40代が75.7%と最も低くなっている。

各種ハラスメントについて(9)



Q30 前回の職員意識調査（令和6年7月）以降、職場でカスタマーハラスメントと思われる行為を受けたことがある。

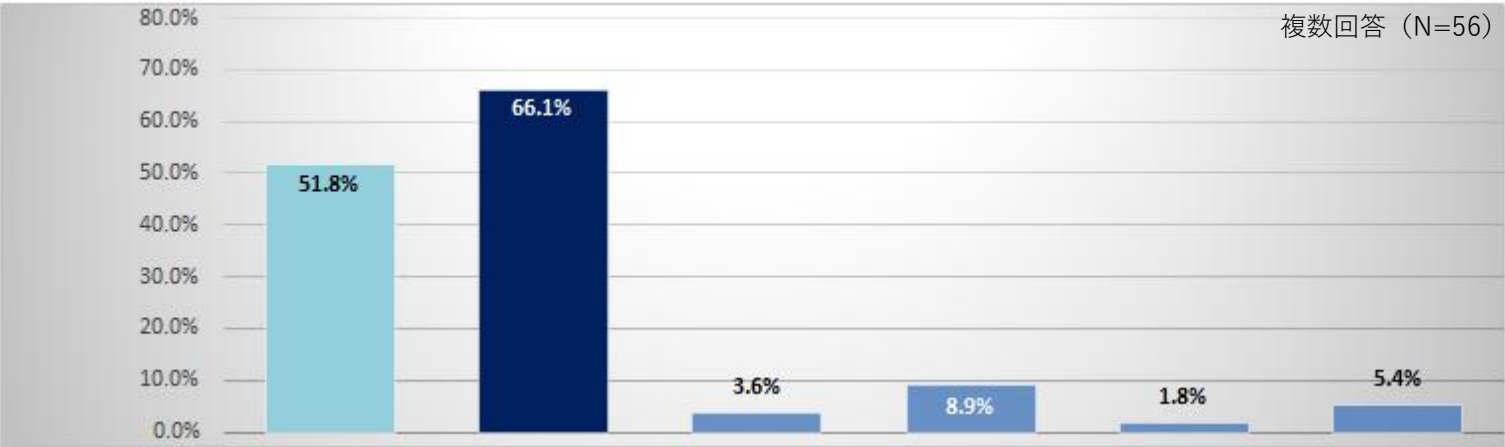


- ・カスタマーハラスメントと思われる行為を受けたことがあると回答した割合は、全体で7.0%、56人となっており、Q22で他のハラスメントと思われる行為を受けたことがあると回答した割合（7.9%）よりも低くなっている。
- ・年代別では、50代が23人と最も多く、各年代の回答数に占める割合では、30代が11.3%と最も高く、次に50代が9.1%の順になっている。
- ・性別の回答数に占める割合では、男性が2.2%（4人）、女性が8.6%（51人）、回答しないが4.2%（1人）となっている。

各種ハラスメントについて(10)



Q31 カスタマーハラスメントと思われる行為は、どのようなものでしたか。（複数回答可）



・ Q30であると回答した人のうち、名誉棄損、侮辱、ひどい暴言が66.1%で最も高く、次に長時間の拘束や同じ内容を繰り返すクレームが51.8%となっている。

	長時間の拘束や同じ内容を繰り返すクレーム（過度なもの）	名誉棄損、侮辱、ひどい暴言	著しく不当な要求（金品の要求、土下座の強要等）	脅迫	暴行・傷害	その他
全体(N=56)	51.8%	66.1%	3.6%	8.9%	1.8%	5.4%
20歳代以下(N=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(N=8)	75.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%
40歳代(N=14)	42.9%	71.4%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%
50歳代(N=23)	47.8%	69.6%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%
60歳代以上(N=10)	50.0%	80.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%

【その他の意見】

(30代女性)
(40代女性)
(50代女性)

大声、暴言、大きな音をたてる。
サービス外と思われる対応の要求
セクハラ(体を触る、抱きつく)

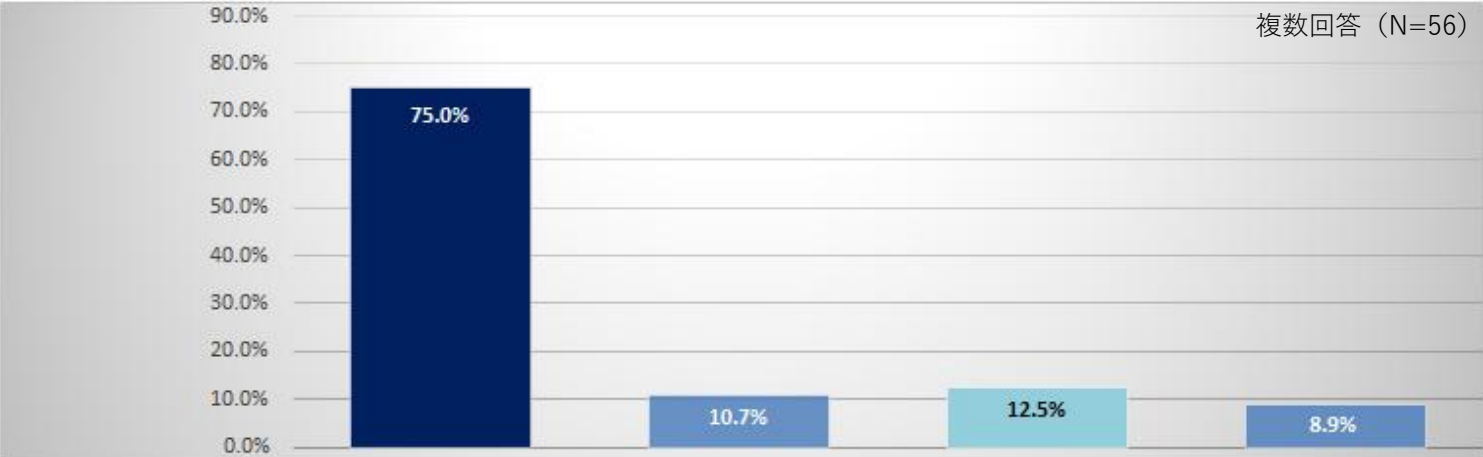
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(11)



Q32 カスタマーハラスメントと思われる行為を行ったのは誰でしたか。(複数回答可)



	市民	業務に関係する企業・団体等の関係者	匿名・不明	その他
全体(N=56)	75.0%	10.7%	12.5%	8.9%
20歳代以下(N=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代(N=8)	87.5%	25.0%	0.0%	0.0%
40歳代(N=14)	71.4%	7.1%	7.1%	14.3%
50歳代(N=23)	78.3%	13.0%	17.4%	4.3%
60歳代以上(N=10)	70.0%	0.0%	10.0%	20.0%

- ・ Q30であると回答した人のうち、市民が75.0%と最も高く、次に匿名・不明が12.5%となっている。
- ・ その他では、保護者などの回答がある。

【その他の意見】

(40代女性) 患者と家族
(50代女性) 職場の同僚
(60代以上女性) 患者さんからたたかれた。

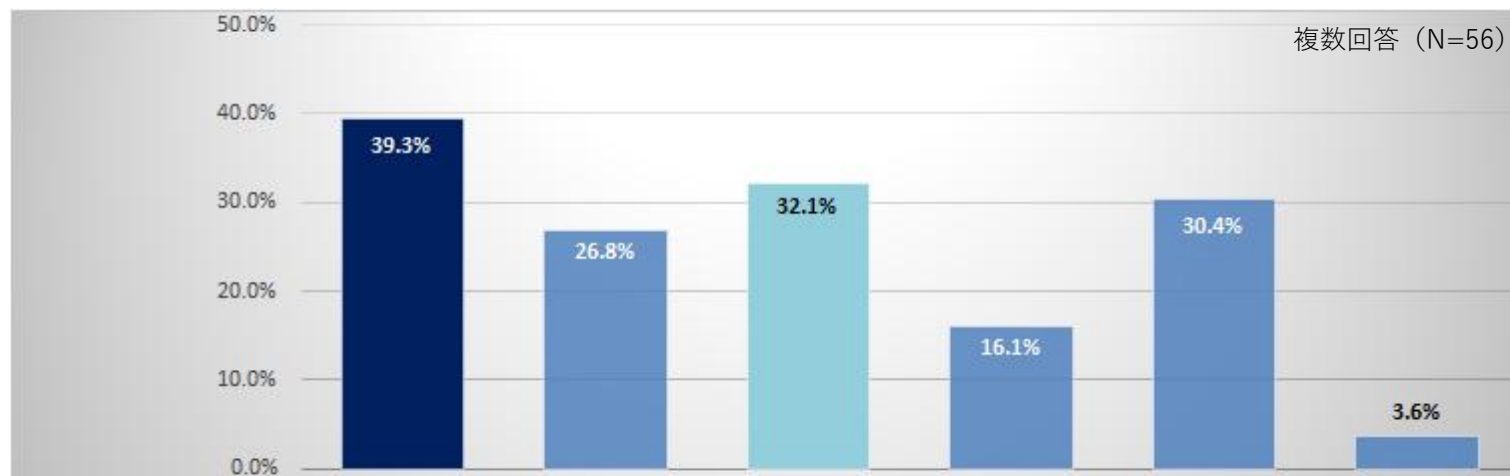
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(12)



Q33 カスタマーハラスメントと思われる行為を受けたことによる生活上の変化は何かありますか。
(複数回答可)



・ Q30であると回答した人のうち、出勤が憂鬱になったが39.3%と最も高く、次に仕事に集中できなくなったが32.1%となり、カスタマーハラスメントと思われる行為を受けたことにより普段とは異なる状態が生じたと回答した割合は、約70%となっている。

	出勤が憂鬱になった	心身に不調をきたした	仕事に集中できなくなった	眠れなくなった	特に変化はなかった	その他
全体(N=56)	39.3%	26.8%	32.1%	16.1%	30.4%	3.6%
20歳代以下(N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代(N=8)	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
40歳代(N=14)	42.9%	21.4%	35.7%	28.6%	28.6%	14.3%
50歳代(N=23)	34.8%	39.1%	30.4%	8.7%	26.1%	0.0%
60歳代以上(N=10)	40.0%	10.0%	20.0%	10.0%	40.0%	0.0%

【その他の意見】

(40代女性)

イライラした。

(40代男性)

来庁者の思ったように事が進まなかった時に身構えたりびくびくしてしまう。

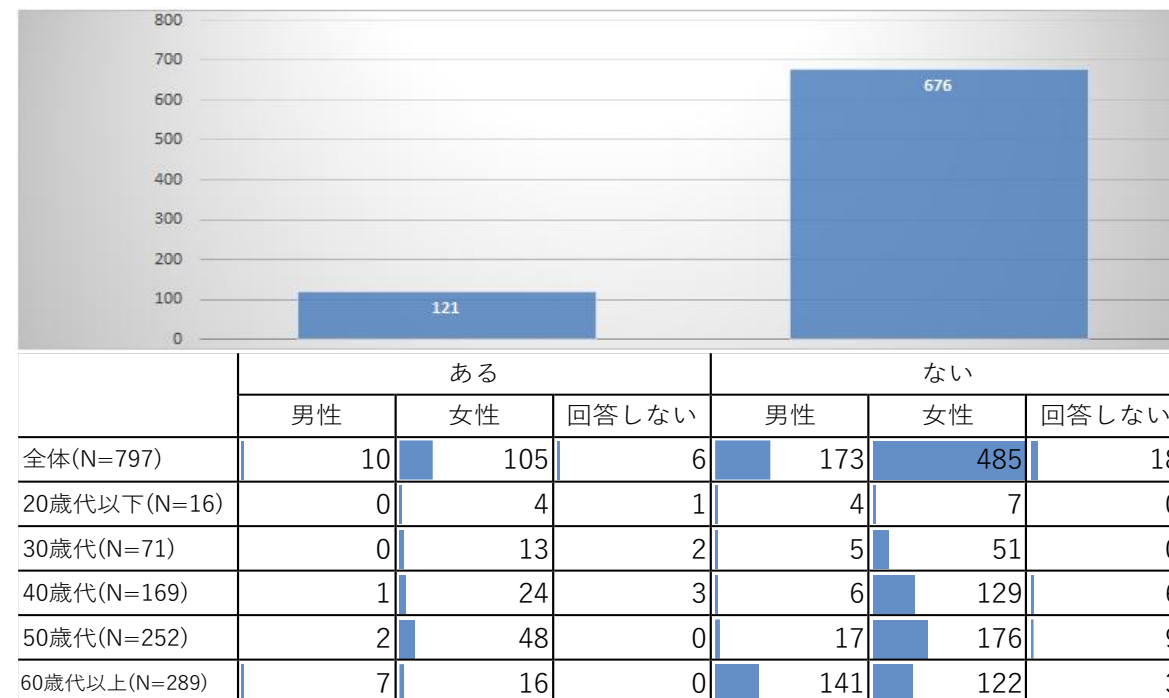
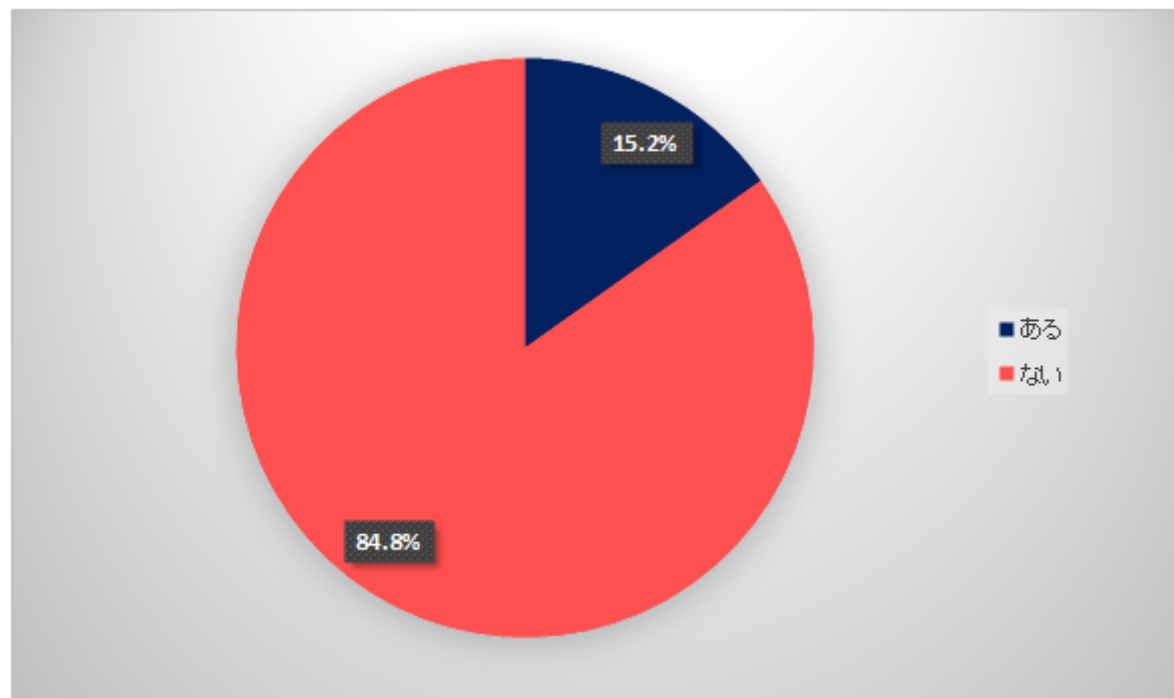
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(13)



Q34 前回の職員意識調査（令和6年7月）以降、職場でカスタマーハラスメントと思われる行為を見聞きしたことがある。

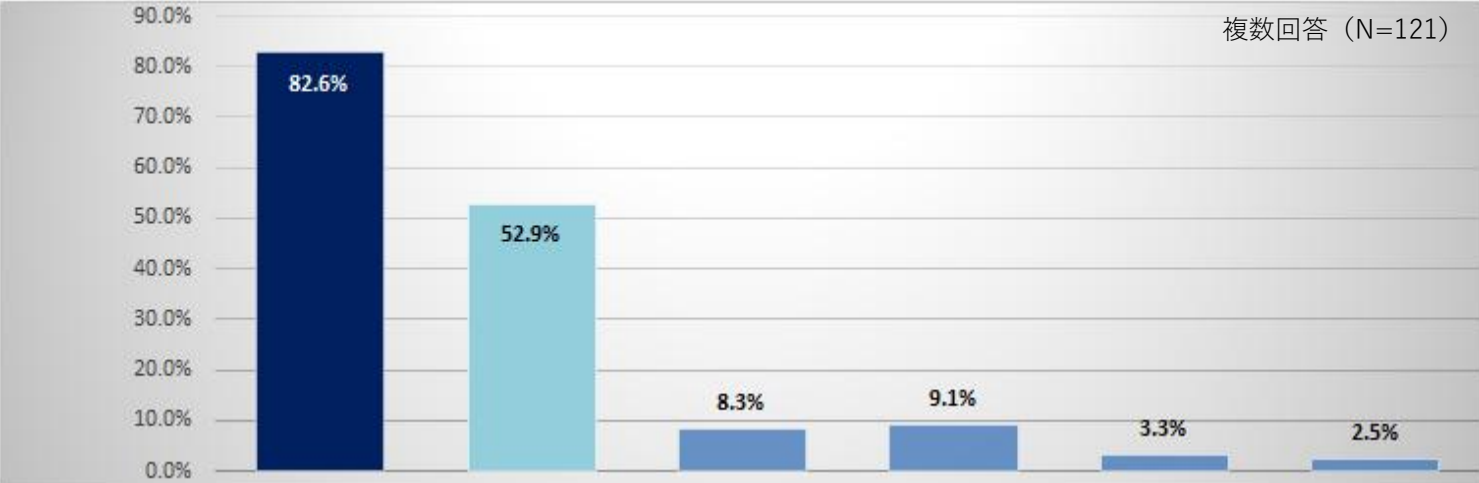


- ・ カスタマーハラスメントと思われる行為を見聞きしたことがあると回答した割合は、全体で15.2%、121人となり、Q30でカスタマーハラスメントと思われる行為を受けたことがあると回答した割合（7.0%）よりも2倍以上高くなっている。
- ・ 年代別では、50代が50人と最も多く、各年代の回答数に占める割合では、20代以下が31.3%と最も高くなっている。
- ・ 性別の回答者に占める割合では、男性が5.5%（10人）、女性が17.8%（105人）、回答しないが25.0%（6人）となっている。

各種ハラスメントについて(14)



Q35 カスタマーハラスメントと思われる行為はどのようなものでしたか。(複数回答可)



・ Q34であると回答した人のうち、長時間の拘束や同じ内容を繰り返すクレームが82.6%と最も高く、次に名誉棄損、侮辱、ひどい暴言が52.9%となり、回答の割合が高い項目は、Q31と同様となっている。

	長時間の拘束や同じ内容を繰り返すクレーム (過度なもの)	名誉棄損、侮辱、ひどい暴言	著しく不当な要求 (金品の要求、土下座の強要等)	脅迫	暴行・傷害	その他
全体(N=121)	82.6%	52.9%	8.3%	9.1%	3.3%	2.5%
20歳代以下(N=5)	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(N=15)	100.0%	53.3%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%
40歳代(N=28)	67.9%	60.7%	14.3%	10.7%	7.1%	7.1%
50歳代(N=50)	86.0%	56.0%	8.0%	12.0%	2.0%	2.0%
60歳代以上(N=23)	82.6%	39.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【その他の意見】

- (40代女性)

同僚が、休まないでほしいと言われたり、勤務時間がフルパートから29時間の短時間に変わるのに、1か月切ってから通達され、伝えるのが遅くなったのはあなたのせいだ、あなたに出す予算がないなどと言われた様だ。
- (40代女性)

フロア全体に聞こえる大声で怒鳴り散らす。
- (50代女性)

対象職員の除外

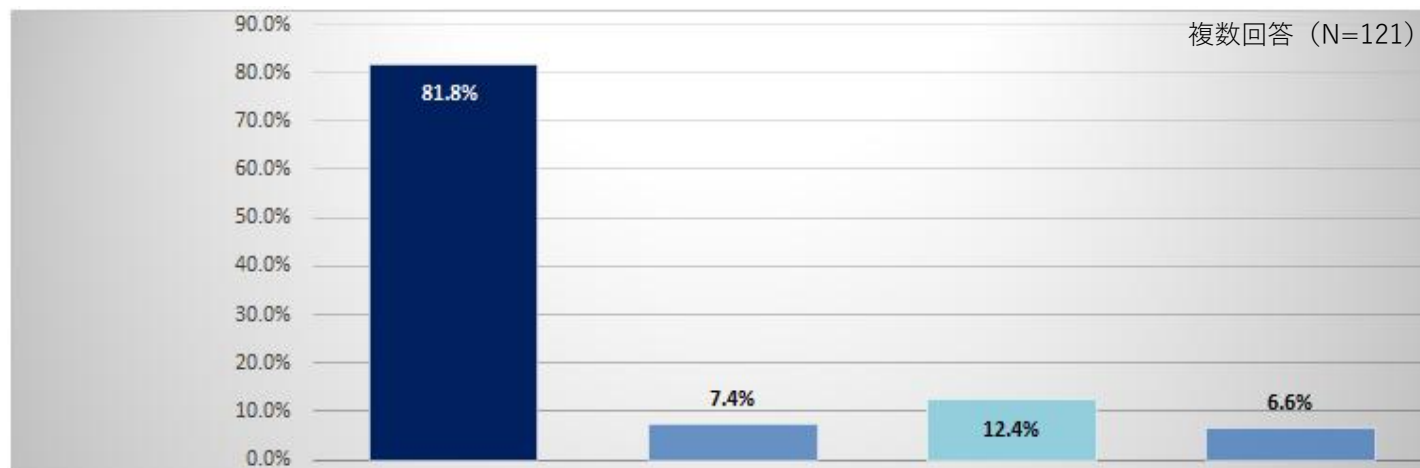
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(15)



Q36 カスタマーハラスメントと思われる行為を行ったのは誰でしたか。(複数回答可)



- ・ Q34であると回答した人のうち、市民が81.8%と最も高く、次に匿名・不明が12.4%となっている。
- ・ その他では、保護者などの回答がある。

	市民	業務に関する企業・団体等の関係者	匿名・不明	その他
全体(N=121)	81.8%	7.4%	12.4%	6.6%
20歳代以下(N=5)	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
30歳代(N=15)	93.3%	26.7%	20.0%	0.0%
40歳代(N=28)	78.6%	7.1%	3.6%	14.3%
50歳代(N=50)	84.0%	2.0%	14.0%	6.0%
60歳代以上(N=23)	73.9%	8.7%	13.0%	4.3%

【その他の意見の一部】

- (40代女性) 患者と家族
- (50代女性) 利用者の家族
- (50代女性) 職場の同僚
- (60代女性) 患者

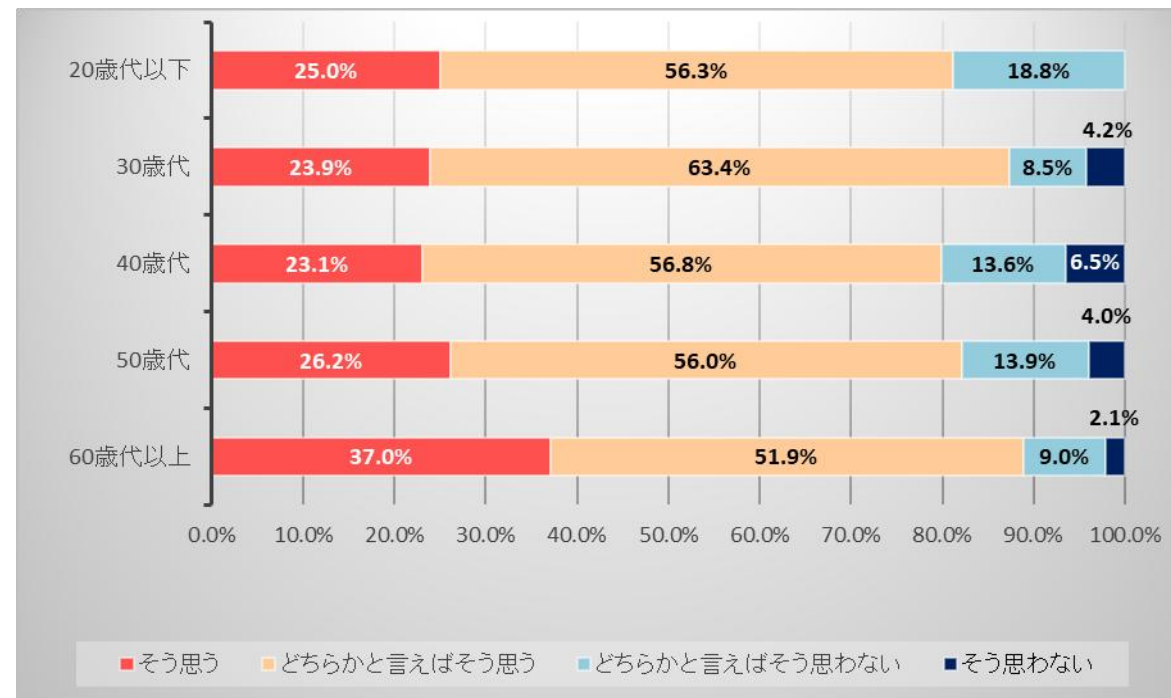
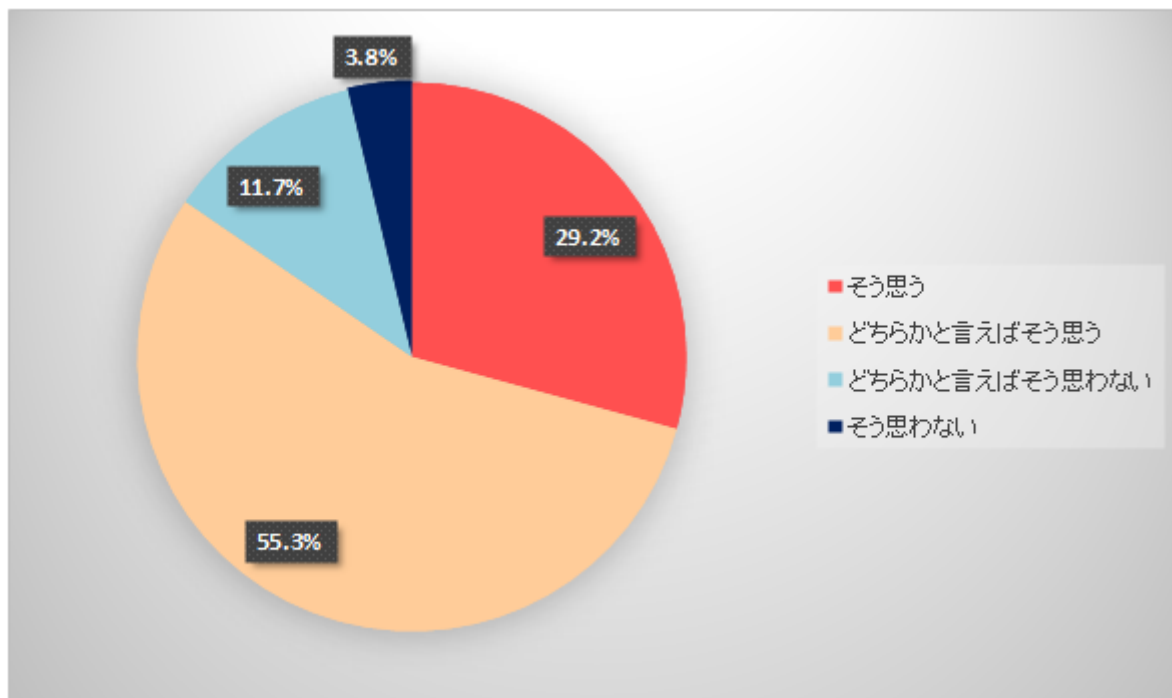
各項目の中で最も高い割合

各項目の中で2番目に高い割合

各種ハラスメントについて(16)



Q37 職場はカスタマーハラスメントに対して適切に対応できている。



- ・ そう思うが29.2%、どちらかと言えばそう思うが55.3%となり、全体の84.5%が相対的に職場はカスタマーハラスメントに対して適切に対応していると回答しており、Q29で相対的に職場はハラスメント（カスタマーハラスメントを除く）を許さない雰囲気があると回答した割合（80.3%）よりも高くなっている。
- ・ 年代別では、そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、60代以上が88.9%と最も高く、40代が79.9%と最も低くなっている。



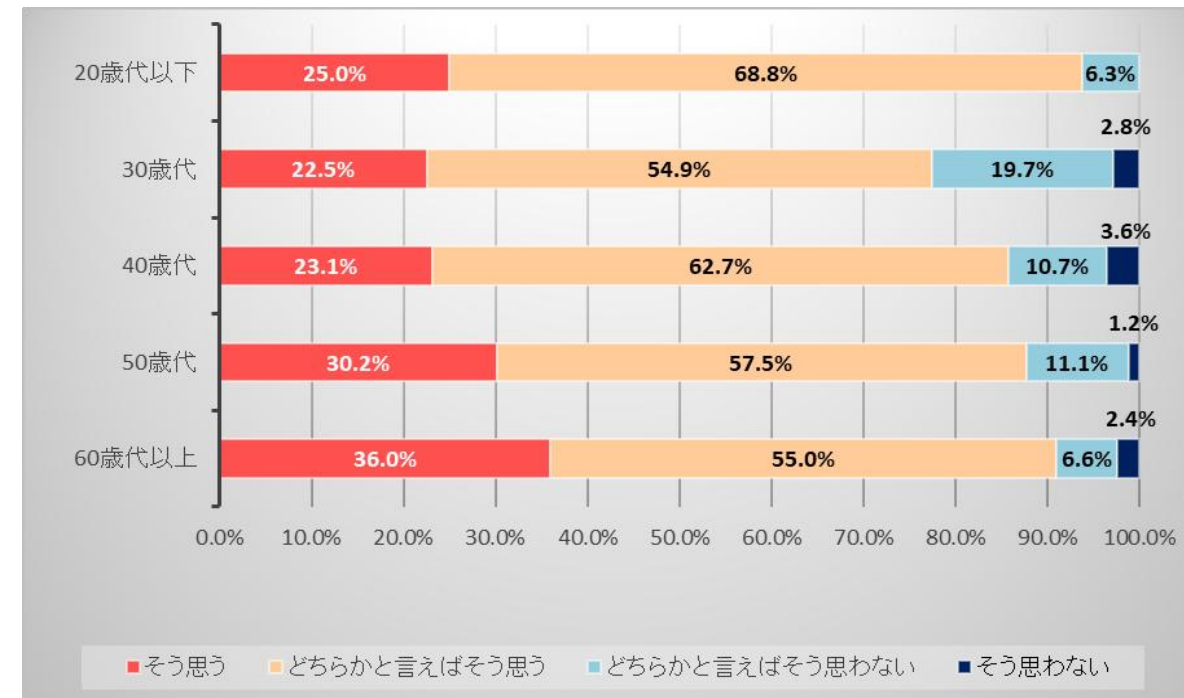
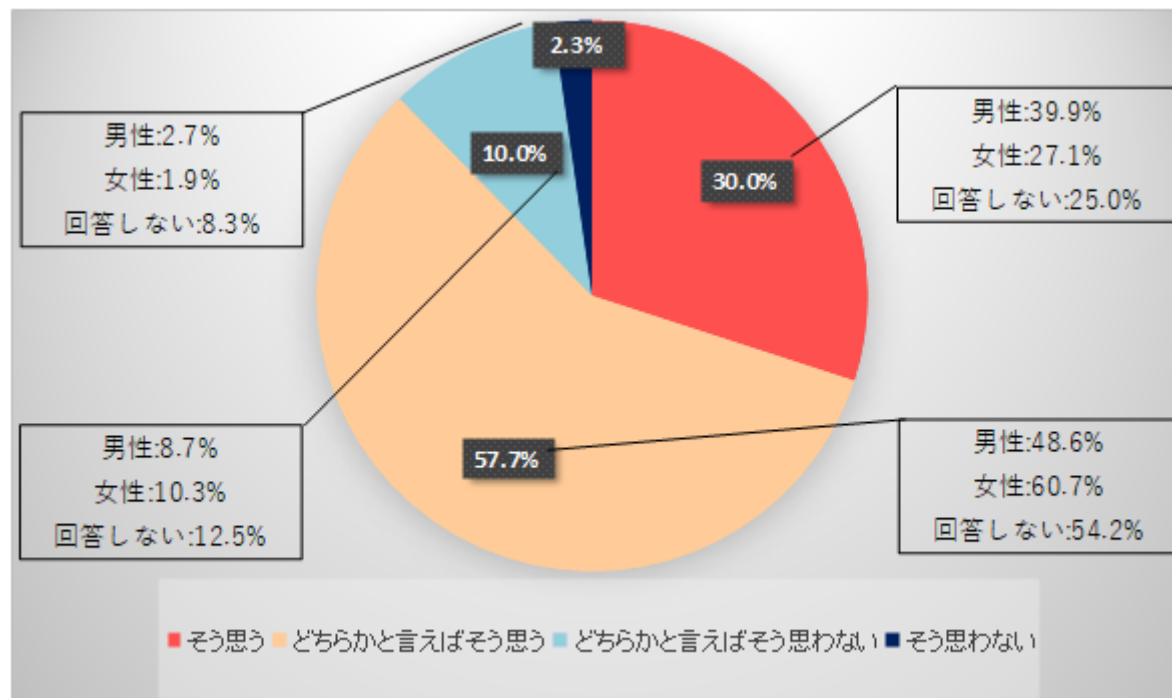
vii 総合満足度【単純集計・クロス集計】

ASAHIKAWA CITY

総合満足度



Q38 総合的に考えて、現在の業務・職場・旭川市役所に満足している。



- ・そう思うが30.0%、どちらかと言えばそう思うが57.7%となり、全体の87.7%が相対的に総合的に考えて現在の業務・職場・旭川市役所に満足していると回答しており、相対的に満足していないと回答した割合は、12.3%となっている。
- ・そう思う及びどちらかと言えばそう思うと回答した割合は、性別では、男性が88.5%、女性が87.8%、回答しないが79.2%となり、年代別では、20代以下が93.8%と最も高く、30代が77.4%と最も低くなっている。



まとめ

ASAHIKAWA CITY

令和8年度職員意識調査のまとめ【会計年度任用職員】



- ・ Q38の総合満足度では、相対的に現在の業務・職場・市役所に満足していると回答した割合が全体の87.7%で、前回（R6）調査の回答割合（78.9%）より8.8ポイント上昇し、正職員の同じ設問の回答割合（65.4%）より20%以上高くなっている。年代別では30代を除き全ての年代で85%以上となっている。
- ・ 評価点（最高点4.00、中間点2.50）で算出すると、肯定度が高い・低い設問は次のとおりとなっている（ハラスメントを除く）。

〈肯定的〉		〈否定的〉	
Q9 誇りや使命感を持って仕事に取り組んでいる	3.48	Q13 現在よりも長い期間安定して働きたい	1.56
Q8 現在の業務にやりがいを感じている	3.44	Q12 現在よりも高い給与・報酬で働きたい	1.92
Q10 現在の業務は自分に向いている	3.44	Q15 業務や仕事上で過度な負担を感じる	2.85
Q16 各種休暇が取りやすい	3.44		
- ・ 評価点が、前回より上昇・低下した設問は次のとおりとなっている（ハラスメントを除く）。

〈上昇〉		〈低下〉	
Q11 業務内容や責任に見合った給与を受けている	+0.35	(なし)	
Q12 現在よりも高い給与・報酬で働きたい	+0.20		
Q14 現在の業務量は適切である	+0.20		
- ・ ハラスメントの設問は、前回と比較するとおおむね肯定的な回答となっているが、職場でハラスメント（カスハラ除く）と思われる行為を受けたことがあると回答した割合は上昇しており、また、ハラスメント相談・解決機関として、人事課を含めた市の体制・取組を相対的に信頼していると回答した割合は正職員が58.3%に対し、会計年度任用職員は72.3%と10%以上高くなっている。
- ・ 正職員と同様に、前回より肯定的な回答の割合が上昇した設問が多くなっている一方、今回の調査においても、現在よりも高い給与・報酬で働きたい、長い期間安定して働きたいと回答した割合がともに75%以上と高くなっていることから、調査結果を踏まえ、引き続き会計年度任用職員の業務等を精査し、処遇にも配慮しながら、職員の思いに応える人事運営に努めていく。